

令和6年度シラバス

(Iコース2年理系)

日本大学東北高等学校

目 次（Iコース2年理系）

学校シラバス	…	1	
Iコース2学年教育活動シラバス	…	2	3
論理国語	…	4	6
古典探究	…	7	10
数学Ⅱ	…	11	14
数学B	…	15	18
物理	…	19	22
化学	…	23	28
生物	…	29	31
体育	…	32	36
保健	…	37	40
英語コミュニケーションⅡ	…	41	43
論理・表現Ⅱ	…	44	46
家庭基礎	…	47	50
情報Ⅰ	…	51	53
総合的な探究の時間	…	54	56

学校シラバス

校訓

- 1 忠恕の心：まごころを持って相手の心をおもいやること。
- 2 自主創造：自主的に学び、考え、広く世界的な視野を持つと共に、新しい自分、心豊かな自分を創造すること。
- 3 真剣力行：強い意志を持ち、目的に向かって全力を尽くすこと。

本年度の努力目標

1. 奉仕と思いやりの心を持つ 2. 新校舎を大切に学ぼう 3. 自ら学び、考え、道をひらこう

取り組み項目	具体的な内容
キャリア教育、教科指導を計画的に推進し、学力の定着と向上を図り、生徒の進路目標を達成する。	<ol style="list-style-type: none"> 1 シラバスを作成し、生徒・保護者へ提示する。 2 進路ガイダンス等の各種説明会を通じて進路情報を提示し、幅広いキャリアビジョンと確かな学力を身に付けた上で進路を決定する意識を構築する。 3 卒業前の3年生に、学外からの出前講座、教員による校内講座を行い、幅広い教養を身に付ける。 4 日本大学工学部との高大連携事業を展開する。
国際理解教育を推進し、グローバル化社会に対応できる力を身に付ける。	<ol style="list-style-type: none"> 1 ネイティブ教員によるTT授業で、英語の4技能の育成を図る。 2 課外講座で、英会話講座を実施して語学力の育成を図る。 3 語学力育成とともに国際理解を深めることを目的に、ケンブリッジ大学研修を実施する。
自主的・主体的な学習への取り組みを通して、社会に貢献できる人材を育成する。	<ol style="list-style-type: none"> 1 自学室・自習室・サポート室を活用し、生徒が自ら学ぶ姿勢を育成する。 2 ICTを利用したアクティブ・ラーニング授業を実践する。 3 基礎学力到達度テスト対策に、春期特別指導を実施する。 4 大学進学に向けて、各種模擬試験の活用と夏期進学補習の充実を図る。 5 図書館を利用して、生徒が自ら問題解決の糸口を見つけ出す姿勢を育成する。
学校行事や課外活動を通して、人間的成長を促し、円満な人格形成を図る。	<ol style="list-style-type: none"> 1 修学旅行を通して、団体行動や平和について学習する。 2 部活動を通して、心身を鍛え自主性や協調性を育成する。 3 文化祭などの学校行事を通して、自主性や創造性、協働性を身に付けるとともに、仲間との達成感を共有する。 4 芸術鑑賞会を通して、広く芸術に触れ、親しむ心を育成する。 5 身だしなみ向上週間の活動を通じて、自律心を育成する。
学校の安全管理を徹底するとともに、安全教育を推進する。	<ol style="list-style-type: none"> 1 学校安全計画、防災マニュアル（安全管理マニュアル・衛生管理マニュアル・防火管理マニュアル）を実践する。 2 火災や地震を想定した避難訓練、および救急救命講習会や避難器具使用講習会等を実施する。 3 地歴公民や保健体育の授業、ホームルーム活動を通じて、安全や健康について学習する。 4 交通安全教室、スマホ安全教室等を実施し、生徒の危機管理意識を育成する。

I コース 2 学年 教育活動シラバス

月	指導内容等	指導のねらい
4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対面式・1 学期始業式 ・ ①進路ガイダンス ・ ①進路希望調査 ・ ①体育クラス及び強化部集会 ・ 健康診断、身体測定、歯科検診 ・ 春期特別指導 ・ 基礎学力到達度テスト ・ シェイクアウト訓練 ・ 個人面談 ・ 服装頭髪指導 ・ 学級懇談会 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校 2 年生への切り替え ・ 様々な学問分野の情報収集 ・ 進路を考える「力」の育成 ・ 生徒の自律、自覚の育成 ・ 健康維持増進の啓発 ・ 基礎学力到達度テストに向けた学力向上 ・ 学力向上への啓発 ・ 防災意識の向上と啓蒙 ・ 精神面・生活面・学習面の個別指導・情報把握 ・ 規範意識の高揚 ・ 保護者との情報共有及び連携
5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒総会 ・ 自転車安全教室 ・ ①参観授業 ・ 春の交通安全登校指導，自転車点検 ・ ①学校生活アンケート ・ 1 学期中間試験 ・ スマホ安全教室 ・ 下宿訪問 ・ 身だしなみ向上週間 ・ ①英検 ・ ロハス探求テーマ募集 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒会活動への自主的参加 ・ 自転車の運転に関するルール・マナーの確認 ・ 授業の公開及び保護者との連携強化 ・ 登校時の安全指導 ・ 生徒の悩み等の把握 ・ 普段の学習及び学力の定着確認 ・ スマホ使用に関するルール・マナーの確認 ・ 下宿生に対する生活の確認 ・ 自己管理の意識付け ・ 資格取得へのチャレンジ ・ 工学部との高大連携教育
6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 衣替え、身だしなみ向上週間 ・ ①校内体育大会 ・ ②進路ガイダンス ・ ①漢検 ・ ①数検 ・ ①献血 ・ 1 学期期末試験 ・ ロハス探求テーマ募集 ・ 思春期講演会 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 季節の変化の意識と、自己管理の意識付け ・ 行事を通して協働・協力する力を育む ・ 日本大学各学部の探究 ・ 資格取得へのチャレンジ ・ 資格取得へのチャレンジ ・ 公共心の涵養、ボランティア体験 ・ 普段の学習及び学力の定着確認 ・ 工学部との高大連携教育 ・ 自己を守るための情報提供及び予防啓発
7	<ul style="list-style-type: none"> ・ ロハス探求テーマ説明会(理系) ・ アカシヤ祭 ・ 芸術鑑賞会 ・ 三者面談 ・ 実力診断テスト ・ 1 学期終業式 ・ 夏期進学講座 ・ 野球全校応援 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工学部との高大連携教育 ・ 行事を通して協働・協力する力を育む ・ 芸術観賞を通じた、豊かな情緒・感受性の涵養 ・ 保護者との連携及び生徒の状況把握 ・ 普段の学習及び学力の定着確認 ・ 1 学期のまとめ ・ 1 学期の学習内容確認と学力の定着 ・ 帰属意識を高め、愛校心を育む
8	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夏期進学講座 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 学期の学習内容確認と学力の定着

9	<ul style="list-style-type: none"> ・始業式 ・服装頭髪指導 ・②進路希望調査 ・②体育クラス及び強化部集会 ・スタディサポート、成果テスト ・ロハスクラスガイダンス(理系) ・ロハス探求ファーストコンタクト ・生徒会役員選挙 ・②参観授業 ・②学校生活アンケート ・秋の交通安全指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・新学期のスタートを円滑にする準備 ・規範意識の高揚 ・生徒の進路希望状況の把握 ・生徒の自律、自覚の育成 ・普段の学習及び学力の定着確認 ・ロハスクラスの理解と探究活動の推進 ・工学部との高大連携教育 ・生徒会活動への積極的な参加 ・保護者との連携 ・生徒の悩み等の把握 ・登校時の安全指導
10	<ul style="list-style-type: none"> ・衣替え、身だしなみ向上週間 ・②校内体育大会 ・②英検 ・2学期中間試験 ・下宿訪問 ・授業評価アンケート ・②献血 ・ベネッセ総合学力テスト(11月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己管理の意識付け ・行事を通して協働・協力する力を育む ・資格取得へのチャレンジ ・普段の学習及び学力の定着確認 ・下宿生に対する生活の確認 ・授業評価を通して客観的な視点を育む ・公共心の涵養、ボランティア体験 ・普段の学習及び学力の定着確認
11	<ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行 ・③進路ガイダンス ・身だしなみ向上週間 ・保護者対象進学説明会 ・②漢検 	<ul style="list-style-type: none"> ・探求学習や協働学習を通して、平和や他文化について理解を深めるとともに、自己管理能力を育む ・志望理由書の作成と具体的な進路目標の設定 ・自己管理の意識付け ・保護者との情報共有及び連携 ・資格取得へのチャレンジ
12	<ul style="list-style-type: none"> ・身だしなみ向上週間 ・2学期期末試験 ・工学部ミニOC(理系) ・2学期終業式 ・クリスマスフェスタ 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己管理の意識付け ・普段の学習及び学力の定着確認 ・工学部における学問分野の理解 ・2学期の総括 ・文化活動の発表
1	<ul style="list-style-type: none"> ・3学期始業式 ・服装頭髪指導 ・③体育クラス及び強化部集会 ・ベネッセ総合学力テスト(1月) ・③英検 ・③漢検 	<ul style="list-style-type: none"> ・新学期のスタートを円滑にする準備 ・規範意識の高揚 ・生徒の自律、自覚の育成 ・普段の学習及び学力の定着確認 ・資格取得へのチャレンジ ・資格取得へのチャレンジ
2	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学対策模試(2月) ・③学校生活アンケート ・②数検 ・ロハス探究プレゼン大会 ・予餞会 ・学年集会 	<ul style="list-style-type: none"> ・普段の学習及び学力の定着確認 ・生徒の悩み等の把握 ・資格取得へのチャレンジ ・探究のプロセスや発表方法を学ぶ ・3年生へ感謝を伝え送別し、帰属意識を高揚 ・2年生の総括指導及び次年度への意識付け
3	<ul style="list-style-type: none"> ・3学期期末試験 ・春期特別授業、スタディサポート ・3学期終業式 	<ul style="list-style-type: none"> ・普段の学習及び学力の定着確認 ・基礎学力到達度テストに向けた学力向上 ・1年間の総括

科 目	単位数	対象学年	対象クラス
論理国語	3	2 学年	I コース全クラス

教科書名 標準 論理国語 (第一学習社)

副教材名 プロGRESS現代文総演習 標準編 (いいずな書店)

現代語練習帳ことのは (いいずな書店)

カラー版新国語便覧 アプリ版 (第一学習社)

1 科目目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。
- (2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	ガイダンス 進化が導き出した答え (稲垣栄洋)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予習復習について ・ 週末課題の実施について ・ ことのは豆テストの実施について ・ 生物の進化における多様性について理解し、それを人間の生き方に照らして考えを深める。
	5	新しい地球観 (毛利衛)	<ul style="list-style-type: none"> ・ オーサグラフ地図の特徴を捉え、筆者が述べる「新しい世界観」との関連について考察する。
	6	プロGRESS現代文を用いて演習 【1 学期中間試験】 数え方で磨く日本語 (飯田朝子)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 具体例をもとに日本語のものの数え方の性質や文化的特徴を理解し、日本語感覚を磨く。
	7	名所絵はがきの東西 (高階秀爾) プロGRESS現代文を用いて演習 【1 学期期末試験】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 絵はがきを例に筆者が東西の自然観をどのように捉えているかを読み取り、自分の考えを深める。
【課題・提出物】 授業ノート・プロGRESS現代文			
【1 学期の評価方法】			

定期テストの平均点 80%+平常点 20%(提出物・授業態度・豆テストの平均点)		
月	学習内容	学習のねらい
2 学 期	9 情けは人の…… (俵万智) 犬も歩けば棒に当たる (阿刀田高) 法に関わる文章を読み比べる	<ul style="list-style-type: none"> ・本文中に示された言葉の正しい意味を知るとともに、言葉に対する筆者の姿勢を読み取る。 ・一つのことわざに複数の解釈を提示する文章を読んで、日本語の多様性について理解を深める。 ・関連するテーマの文章を読み比べ、書き手の立場や目的を考えながら内容を解釈し、両者を比較しながら考えをまとめる。 ・二種類の実用的な文章を比較し必要な情報を読み取り、両者を関連づけて解釈する方法を学ぶ。
	10 プログレス現代文を用いて演習 【2学期中間試験】	
	11 バラと通貨はどう違う？ (浜矩子) ヒトはなぜヒトになったか (長谷川眞理子)	<ul style="list-style-type: none"> ・本文中で通貨と対比されているものの性質を把握し、筆者が述べる通貨の本質を理解する。 ・因果関係を解き明かしていく論理構成の手順を把握し、ヒトの進化の過程を理解する。
	12 プログレス現代文を用いて演習 【2学期期末試験】	
【課題・提出物】 授業ノート・プログレス現代文		
【2学期の評価方法】 定期テストの平均点 80%+平常点 20%(提出物・授業態度・豆テストの平均点)		
月	学習内容	学習のねらい
3 学 期	1 共同性の幻想 (菅野仁) 2 鏡としての他者 (榎本博明) ボランティアへの参加を伝えるメールの文章を検討する	<ul style="list-style-type: none"> ・「同調圧力」がはたらく社会的背景を理解し、現代における人間関係のあり方を考察する。 ・文章構造をもとに筆者の主張を読み取り、他者が自己に与える影響を考える。 ・実用文は場面や目的に応じた書き方が必要であることを理解する。 ・関連する文章を比較して読み、書き手の立場や目的を考えながら内容を解釈する。
	3 プログレス現代文を用いて演習 【3学期期末試験】	
	【課題・提出物】 授業ノート・プログレス現代文	
【3学期の評価方法】 定期テストの平均点 80%+平常点 20%(提出物・授業態度・豆テストの平均点)		
【年間の学習状況の評価方法】 定期テストの平均点 80%+平常点 20%(提出物・授業態度・豆テストの平均点)		

3 観点別評価内容および評価方法

	観点別評価内容	評価方法
知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身につけている。	定期試験・豆テスト
思考・判断・表現	「書くこと」「読むこと」の各領域において論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	定期試験・授業態度・提出物
主体的に学習に取り組む態度	言葉を通し積極的に他者や社会に関わったり、考えを広げたり深めたりしながら言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉を効果的に使おうとしている。	授業態度・豆テスト・提出物

4 学習サポート（事前・事後学習等について）

【予習】本文を通読しわからない語句や漢字があれば調べておく。

話題、筆者の主張、その根拠となる部分にマークをつけながら読む習慣をつける。
各段落の役割を意識しながら読む。

【復習】授業で学んだ内容を元に、問題演習形式で解答の仕方を定着させる。

各種模擬試験前後に対策・解説を行うことがある。

小説は副教材を用いて取り扱う。

科 目	単位数	対象学年	対象クラス
古典探究	3	I コース 2 学年	文理共通

教科書名 高等学校 標準 古典探究 (第一学習社)

副教材名 三訂版プロGRESS古典総演習標準編 (いいずな書店)

学ぶぞ古文と漢文 (尚文出版)

学ぶぞ古文と漢文 基本練習ノート (尚文出版)

カラー版新国語便覧 アプリ版 (第一学習社)

重要古文単語 315 (桐原書店)

1 科目目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成する。

- (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身に付ける。

2 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	【一学期中間試験】授業時数 9～11 《古文》 説話(一)古今著聞集「小式部内侍が大江山の歌の事」	・著名な和歌にまつわる話を読み、説話として語り伝えられた背景事情について理解を深める。 ・説話という文章の種類や古典特有の表現に注意して、展開や内容を的確に捉える。
	5	和歌の修辞法 《漢文》 故事・寓話 韓非子「逆鱗に嬰る」 《古語単語豆テスト》 P36～P89 《週末課題》 プロGRESS古典総演習標準編 古文 2 作品・漢文 2 作品 学ぶぞ古文と漢文基本練習ノート	・和歌の修辞について理解を深める。 ・現在使われている言葉の由来となった漢文を読み、漢文が日本語に与えた影響について理解を深める。 ・故事・寓話という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 ・週末課題により読解力や基本的な文法、句形の知識を学び、実践力を身に付ける。 ・古語単語の豆テストにより、語彙力を身に付

		<p>【一学期期末試験】授業時数 12～14</p> <p>《古文》 随筆(一)徒然草「奥山に、猫またといふものありて」</p> <p>6 《漢文》 三国志の世界「水魚の交わり」 《古文》 物語(一)伊勢物語「初冠」 《古語単語豆テスト》 P90～P129 《週末課題》 プログレス古典総演習標準編 古文2作品・漢文2作品</p> <p>7 学ぶぞ古文と漢文基本練習ノート 【夏休み中の課題】 プログレス古典総演習標準編 学ぶぞ古文と漢文基本練習ノート (古文：助詞 漢文：漢文句形)</p>	<p>ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世の諸事象に関する随筆を読んで、ものの見方・考え方を深める。 ・随筆という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・物語の中で和歌が果たしている役割を押さえながら、場面と登場人物の心情とを読み味わう。 ・歌物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・諸葛亮が劉備に進言した策について理解するとともに、両者の関係を把握する。 ・書き手の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。
	<p>【課題・提出物】 日本大学付属高等学校等文芸コンクール創作作品・学ぶぞ古文と漢文基本練習ノート プログレス古典総演習標準編</p>		
	<p>【1学期の評価方法】 定期テストの平均点 80%+平常点(授業態度・出席・単語テストの得点率・提出物)</p>		
	月	学習内容	学習のねらい
2 学 期	9	<p>【二学期中間試験】授業時数 10～14</p> <p>《古文》 物語(一)伊勢物語「小野の雪」 敬語表現</p> <p>10 《漢文》 諸家の思想 孟子「仁は人の心なり」 「民の父母」 《古語単語豆テスト》 P130～P175 《週末課題》 プログレス古典総演習標準編 古文2作品・漢文2作品 学ぶぞ古文と漢文基本練習ノート</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・古文における敬語について理解を深める。 ・歌物語を読み、文語のきまりや古典特有の表現に注意しながら、積極的に内容を捉えようとしている。 ・『孟子』を読み、古代中国思想について理解する。 ・思想を述べた文章を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 <p>・古典の作品や文章を読み、自分のものの見方</p>

11	<p>【二学期期末試験】授業時数 15～18 《古文》 説話(二)沙石集「児の知恵」</p>	<p>や考え方を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・七夕伝説の由来の一つとなった説話を読み、古代中国の人々の想像力と天に対する考え方に触れる。
12	<p>《漢文》 搜神記「織女」 老子「柔弱」 《古語単語豆テスト》 P176～P216 《週末課題》 プログレス古典総演習標準編 古文2作品・漢文2作品 学ぶぞ古文と漢文基本練習ノート</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。 ・儒家と対立する道家の古典である『老子』を読み、古代中国思想について理解する。 ・思想を述べた文章を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。
<p>【課題・提出物】 プログレス古典総演習標準編・学ぶぞ古文と漢文基本練習ノート</p>		
<p>【2学期の評価方法】 定期テストの平均点 80% + 平常点(授業態度・出席・単語テストの得点率・提出物)</p>		
月	学習内容	学習のねらい
3 学 期	<p>【三学期期末試験】授業時数 20～22 《古文》 1 蜻蛉日記「泔坏の水」 《漢文》 2 説苑「後患を顧みず」 漢詩「絶句」「除夜弟妹に寄す」 《古語単語豆テスト》 3 P218～P298 《週末課題》 プログレス古典総演習標準編 古文2作品・漢文2作品 学ぶぞ古文と漢文基本練習ノート</p> <p>【春季休業中の課題】 プログレス古典総演習標準編 学ぶぞ古文と漢文基本練習ノート</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・女性による日記文学の先駆となった作品を読んで、自己の内面を赤裸々に書き綴った心情描写に触れる。 ・作品の成立背景や他作品との関係をふまえて、内容の解釈を深める。 ・古代における臣下の立場を理解するとともに、呉王に対する少孺子の説得の巧みさを読み取る。 ・逸話という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 ・漢詩の表現や技法への理解を深め、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを通して考えを広げる。 ・漢詩特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。
<p>【課題・提出物】 プログレス古典総演習標準編・学ぶぞ古文と漢文基本練習ノート等</p>		

【3学期の評価方法】 定期テストの平均点 80% + 平常点 (授業態度・出席・単語テストの得点率・提出物)
【年間の学習状況の評価方法】 定期試験素点：80% (年間 5 回の定期試験素点の平均点) 平常点：20% (各学期の平常点の平均点)

3 観点別評価内容および評価方法

	観点別評価内容	評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・古語単語、古文文法の知識が身についている。 ・漢文訓読、句形の知識が身についている。 ・正しく文章を読解する基礎知識が身についている。 	豆テスト 定期テスト 提出物
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の構成を理解し、本文の主旨や主張を正しく理解する。 ・本文の趣旨に沿って、自分なりの考えを述べるができる。 ・当時の社会のあり方を踏まえて、登場人物が置かれた状況を把握し、正確に感情などを捉えることができる。 	授業中の話し合い 発表 定期テスト 提出課題
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・予習、復習に取り組む学習習慣が身についている。 ・課せられた課題に取り組むだけでなく、文献やインターネットなどを用いて、当時の社会状況や考え方、価値観を調査する。 	授業中における活動 予習・復習 定期テスト 提出課題

4 学習サポート (事前・事後学習等について)

<p>古文・漢文も辞書や参考書を使って、必ず予習してから授業に臨むこと。</p> <p>古文なら用言の活用の種類と活用形、助動詞の文法的意味、重要な助詞について、予習段階で調べてノートに記入する。また辞書を用いて、全文の逐語訳にも取り組んでおく。</p> <p>漢文なら漢和辞典、ダブルマスターなどを使用し、書き下し文と口語訳に取り組んでおく。</p> <p>毎時間実施される古語単語テストでは、アプリ等を使用して、例文ごと暗記する習慣を身に付ける。</p> <p>週末課題で課せられる問題集は、ただ解くだけで満足せず、文中で使われた重要文法についてダブルマスターや辞書を用いて、正しい知識を習得する。文法書で調べるだけで満足せず、必ず演習問題などにも取り組み、解き方・考え方を定着させる。</p>

科目	単位数	対象学年	対象クラス
数学Ⅱ	5単位	2年	Iコース理系

教科書名 新編 数学Ⅱ (啓林館), 新編 数学B (啓林館), 新編 数学Ⅲ (啓林館)

副教材名 新課程 基本と演習テーマ 数学Ⅱ+B (数研出版)

新課程 基本と演習テーマ数学Ⅲ (数研出版), 新課程 基本と演習テーマ数学C (数研出版)

1. 科目目標

- 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学的な考え方（論理的思考）を身に付ける。
- 答え（結果）だけではなく、解く過程を数字や文字を用いて表現できる能力を養う。
- 発展的・研究的内容にも取り組み、自ら気づき、学びとる姿勢（探求型学習）を身に付ける。

2 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	数学Ⅱ 第3章 図形と方程式 第1節 点と直線 (8) 1 直線上の点 2 平面上の点	<ul style="list-style-type: none"> ・座標を用いて、平面上の線分を内分する点、外分する点の位置や2点間の距離を表すことを学習する。 ・座標平面上の直線を方程式で表し、それを2直線の位置関係などの考察に活用することを学習する。
		5	
		第2節 円 (8) 1 円の方程式 2 円と直線	<ul style="list-style-type: none"> ・座標平面上の円を方程式で表し、それを円と直線の位置関係などの考察に活用することを学習する。
	1学期中間試験		
6		数学Ⅱ 第4章 三角関数 第1節 一般角と三角関数 (11) 1 一般角 2 弧度法 3 一般角の三角関数 4 三角関数の相互関係 5 三角関数のグラフ 6 三角関数を含む方程式・不等式	<ul style="list-style-type: none"> ・角の概念を一般角まで拡張する意義や弧度法による角度の表し方や扇形の面積の求め方などについて学習する。 ・三角関数について、相互関係などの基本的な性質や周期性をもつそのグラフの特徴について学習する。 ・三角関数を用いた、方程式・不等式の解を求めることを学習する。
		第2節 三角関数の加法定理 (10) 1 三角関数の加法定理 2 2倍角の公式 3 三角関数の合成	<ul style="list-style-type: none"> ・三角関数の加法定理、2倍角の公式を用いた解法を学習する。 ・三角関数の合成を理解し、それらを用いて、三角関数の方程式・不等式の解法を学習する。

		1 学期期末試験	
		【課題・提出物】 ○ 副教材の問題集，および，追加問題を課題とする。(原則プリント形式) ① 途中式を記述する ② 自己採点を行う ③ 不正解の問いを解きなおす	
		【第1学期の評価方法】 ○ 定期試験の成績 (80%) 1 学期中間試験，1 学期期末試験の計 2 回 ○ 平常点 (20%) 課題への取り組み，確認テストの成績，および，授業への出席や意欲・積極性	
	月	学習内容	学習のねらい
2 学 期	9	数学B 第1章 数列 第1節 等差数列・等比数列 (8) 1 数列とその項 2 等差数列 3 等比数列	・簡単な数列 $\{a_n\}$ について， n と a_n との対応関係に着目して，数列の一般項の意味を学習する。合わせて，初項，第 n 項，末項，項数などの基本用語を学習する。 ・等差数列と等比数列の一般項を求め，更に第 n 項までの和を求めることを学習する。
		第2節 いろいろな数列 (9) 1 いろいろな数列の和と和の記号 Σ 2 数列の和と一般項	・自然数の累乗の和 (Σ) の公式をもちいて，いろいろな数列の和の計算を学習する。 ・階差数列を理解し，階差数列が等差数列や等比数列になるような簡単な数列を学習する。
	10	2 学期中間試験	
		第3節 漸化式と数学的帰納法 (6) 1 漸化式 2 数学的帰納法	・数列の漸化式の意味を学習する。 ・1 次の形の隣接二項間の漸化式で表された数列について，一般項の求めかたを学習する。
2 学 期	11	数学II 第6章 微分と積分 第1節 微分係数と導関数 (6) 1 平均変化率と微分係数 2 導関数 3 接線の方程式	・微分係数や導関数を理解し，関数の定数倍，和及び差の導関数を求めることを学習する。
		第2節 導関数の応用 (5) 1 関数の値の増加・減少 2 方程式・不等式への応用	・導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ，グラフの概形をかくことを学習する。 ・グラフの概形を利用して，方程式の解などの考察に活用することを学習する。
		第3節 積分 (8) 1 不定積分 2 定積分 3 面積と定積分	・不定積分及び定積分を理解し，関数の定数倍，和及び差の不定積分や定積分を学習する。 ・定積分を用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求めることを学習する。

12	2 学期期末試験	
	【課題・提出物】 <input type="radio"/> 副教材の問題集，および，追加問題を課題とする。(原則プリント形式) <input type="radio"/> ① 途中式を記述する ② 自己採点を行う ③ 不正解の問いを解きなおす	
	【第2学期の評価方法】 <input type="radio"/> 定期試験の成績 (80%) 2 学期中間試験，2 学期期末試験の計 2 回 <input type="radio"/> 平常点 (20%) 課題への取り組み，確認テストの成績，および，授業への出席や意欲・積極性	
月	学習内容	学習のねらい
1	数学C 第1章 ベクトル 第1節 平面上のベクトル (11) 1 ベクトル 2 ベクトルの和・差・実数倍	<ul style="list-style-type: none"> ・平面上のベクトルの意味や演算，成分および内積などの基本的な概念について理解し，ベクトルを用いて図形の性質を学習する。 ・平面上のベクトルについて，その意味，相等，加法，減法および実数倍について学習する。 ・ベクトルの内積の意味や基本的な性質を理解し，平面図形の性質を学習する。 ・位置ベクトルを用いて，図形の性質の考察において形式的な処理ができることを学習する。 ・ベクトル方程式を用いて，平面図形の性質や関係を表現できるように学習する。 ・空間座標の概念を導入し，内積や成分などの平面上のベクトルの考えを空間に拡張して，空間図形に活用できるように学習する。
2	3 ベクトルの成分 4 ベクトルの内積 第2節 平面上のベクトルと図形 (5) 1 位置ベクトル 2 位置ベクトルと図形 3 ベクトル方程式	
	第3節 空間におけるベクトル (7) 1 空間における直線と平面の位置関係 2 空間の点の座標 3 空間のベクトル	
3		
	3 学期期末試験	
	【課題・提出物】 <input type="radio"/> 副教材の問題集，および，追加問題を課題とする。(原則プリント形式) <input type="radio"/> ① 途中式を記述する ② 自己採点を行う ③ 不正解の問いを解きなおす	
	【第3学期の評価方法】 <input type="radio"/> 定期試験の成績 (80%) 3 学期期末試験の計 1 回 <input type="radio"/> 平常点 (20%) 課題への取り組み，確認テストの成績，および，授業への出席や意欲・積極性	
	【年間の学習状況の評価方法】 <input type="radio"/> 定期試験の成績 (80%) (年間 5 回の定期試験の成績) <input type="radio"/> 平常点 (20%)	

(年間の「課題への取り組み，確認テストの成績，および，授業への出席や意欲・積極性」)

3 観点別評価内容および評価方法

	観点別評価内容	評価方法
知識・技能	授業の内容を理解し，活用することで問題を解くことができる。	授業態度 課題 定期試験等
思考・判断・表現	問題を読み，解き方の考察ができる。また，授業で得た知識を活用し，解答を表現することができる。	授業態度 課題 定期試験等
主体的に学習に取り組む態度	数学に興味・関心を持ち，積極的に授業に参加することができる。	授業態度 課題

4 学習サポート（事前・事後学習等について）

<授業について>

① 数学Ⅱ・数学Bの学習について

1学年と比較し，扱う公式が増加します。公式を覚えることは必要ですが，どんな問題でどの公式をどのように使うのかを理解することが必要です。

日々の積み重ねが大切です。課題をペースメーカーとして自宅における予習・復習を行いましょう。

② iPadの利用

iPadを利用した学習活動を展開していきます。

③ 学び合い【アクティブラーニング（主体的・対話的で深い学び）】

授業中に，演習の時間を設けます。積極的に「学び合い」を行いましょう。わからないところを友人や教員に質問をする（問題解決に向けた主体的・対話的な学び）。

自分が理解し解けた問題は，友人に教えましよう。内容の定着度が上がります。（対話的で深い学び）

<課題について>

授業進度に合わせて，課題を配布します。授業内容の確認や定着を図るためには，自ら考えて「やってみる」ことが大切です。また，わからない問題は，友人や教員に質問して，授業進度に合わせて，解決できるようにしましよう。

科目	単位数	対象学年	対象クラス
数学B	3単位	2年	Iコース理系

教科書名 新編 数学Ⅱ (啓林館), 新編 数学B (啓林館), 新編 数学Ⅲ (啓林館)

副教材名 新課程 基本と演習テーマ 数学Ⅱ+B (数研出版)

新課程 基本と演習テーマ数学Ⅲ (数研出版), 新課程 基本と演習テーマ数学C (数研出版)

1. 科目目標

- 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学的な考え方（論理的思考）を身に付ける。
- 答え（結果）だけではなく、解く過程を数字や文字を用いて表現できる能力を養う。
- 発展的・研究的内容にも取り組み、自ら気づき、学びとる姿勢（探求型学習）を身に付ける。

2 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい	
1 学 期	4 5	数学Ⅱ 第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数と指数関数 (9) 1 0や負の整数の指数 2 指数の拡張 3 指数関数	・ 指数を正の整数から有理数へ拡張することを学習する。 ・ 指数関数とそのグラフの特徴について理解し、それらを事象の考察に活用することを学習する。	
		1学期中間試験		
		6	第2節 対数と対数関数 (12) 1 対数 2 対数関数 3 常用対数	・ 対数の意味とその基本的な性質について理解し、簡単な対数の計算をすることを学習する。 ・ 対数関数とそのグラフの特徴について理解し、それらを事象の考察に活用する力を育成する。 ・ 常用対数の理解を通じて、対数関数の有用性を学習する。
	1学期期末試験			
【課題・提出物】				
○ 副教材の問題集、および、追加問題を課題とする。(原則プリント形式) ① 途中式を記述する ② 自己採点を行う ③ 不正解の問いを解きなおす				
【第1学期の評価方法】				
○ 定期試験の成績 (80%) 1学期中間試験, 1学期期末試験の計2回				
○ 平常点 (20%) 課題への取り組み, 確認テストの成績, および, 授業への出席や意欲・積極性				

	月	学習内容	学習のねらい
--	---	------	--------

2 学 期	9	数学B 第2章 統計的な推測 第1節 確率分布 (11) 1 確率変数と確率分布 2 確率変数の期待値 3 確率変数の分散と標準偏差 4 確率変数の和の期待値と分散 5 二項分布	<ul style="list-style-type: none"> 確率変数とその分布，統計的な推測について理解し，それらを不確定な事象の考察に活用することを学習する。 確率変数の期待値（平均），分散，標準偏差について理解し，確率分布の特徴を学習する。 二項分布を学習する。 	
		2学期中間試験		
		11	第2節 正規分布 (5) 1 連続的な確率変数 2 正規分布	<ul style="list-style-type: none"> 正規分布を理解し，身長計測などの具体的な事象に活用することを学習する。
			第3節 統計的な推測 (9) 1 母集団と標本 2 推定 3 仮説検定	<ul style="list-style-type: none"> 母平均の推定，母比率の推定など，標本調査を学習する。
		12	2学期期末試験	
【課題・提出物】				
<ul style="list-style-type: none"> 副教材の問題集，および，追加問題を課題とする。（原則プリント形式） ① 途中式を記述する ② 自己採点を行う ③ 不正解の問いを解きなおす 				
【第2学期の評価方法】				
<ul style="list-style-type: none"> 定期試験の成績（80%） 2学期中間試験，2学期期末試験の計2回 平常点（20%） 課題への取り組み，確認テストの成績，および，授業への出席や意欲・積極性 				
月	学習内容	学習のねらい		
3 学 期	1	第1章 数列の極限 第1節 無限数列 (5) 1 無限数列と極限 2 無限等比数列	<ul style="list-style-type: none"> 数列の極限に関して，収束，発散，振動の意味や，極限値の性質，数列の極限と大小関係などの基本事項を理解し，無限等比数列$\{r^n\}$の極限について学習する。 	
		2	第2節 無限級数 (3) 1 無限級数 2 無限等比級数	<ul style="list-style-type: none"> 一般の無限級数の和について学習し，無限等比級数に応用して，その収束条件や和の公式を学習する。
		第2章 関数とその極限 第1節 分数関数と無理関数 (5) 1 分数関数 2 無理関数 3 逆関数と合成関数	<ul style="list-style-type: none"> 分数関数と無理関数のグラフを利用して方程式や不等式の解法を学習する。 合成関数や逆関数を求める解法を学習する。 関数の連続性について学習する。 	

	第2節 関数の極限と連続性 (4) 1 関数の極限 2 関数の連続性	
	第3節 軌跡と領域 (5) 1 軌跡 2 不等式の表す領域	・与えられた条件から軌跡を求めたり，不等式の表す領域を求めたり，領域を不等式で表したりすることを学習する。
3	3学期期末試験	
【課題・提出物】 ○ 副教材の問題集，および，追加問題を課題とする。(原則プリント形式) ① 途中式を記述する ② 自己採点を行う ③ 不正解の問いを解きなおす		
【第3学期の評価方法】 ○ 定期試験の成績 (80%) 3学期期末試験の計1回 ○ 平常点 (20%) 課題への取り組み，確認テストの成績，および，授業への出席や意欲・積極性		

3 観点別評価内容および評価方法

	観点別評価内容	評価方法
知識・技能	授業の内容を理解し、活用することで問題を解くことができる。	授業態度 課題 定期試験等
思考・判断・表現	問題を読み、解き方の考察ができる。また、授業で得た知識を活用し、解答を表現することができる。	授業態度 課題 定期試験等
主体的に学習に取り組む態度	数学に興味・関心を持ち、積極的に授業に参加することができる。	授業態度 課題

4 学習サポート（事前・事後学習等について）

<授業について>

① 数学Ⅱ・数学Bの学習について

1学年と比較し、扱う公式が増加します。公式を覚えることは必要ですが、どんな問題でどの公式をどのように使うのかを理解することが必要です。

日々の積み重ねが大切です。課題をペースメーカーとして自宅における予習・復習を行いましょう。

② iPadの利用

iPadを利用した学習活動を展開していきます。

③ 学び合い【アクティブラーニング（主体的・対話的で深い学び）】

授業中に、演習の時間を設けます。積極的に「学び合い」を行いましょう。わからないところを友人や教員に質問をする（問題解決に向けた主体的・対話的な学び）。

自分が理解し解けた問題は、友人に教えましよう。内容の定着度が上がります。（対話的で深い学び）

<課題について>

授業進度に合わせて、課題を配布します。授業内容の確認や定着を図るためには、自ら考えて「やってみる」ことが大切です。また、わからない問題は、友人や教員に質問して、授業進度に合わせて、解決できるようにしましよう。

教科・科目	単位数	対象学年	対象クラス
物理	5	Iコース2学年	理系物理選択者

教科書名 「物理」および「物理基礎」(東京書籍)

副教材名 ニューグローバル物理基礎+物理 (東京書籍)

WINSTEP 物理基礎 (ラーンズ)

1. 教科目標

1. 物理に対する興味関心を高め、物理の基礎的な考え方を身に付ける。
2. 生涯にわたり必要となる科学的な知識・思考力を身に付ける。
3. 物理の学習を通じて、自ら主体的に学ぶ姿勢と、他者と協働して学習する態度を身に付ける。

学習した基本的な原理・法則を用いて、身近な物理的な事物・現象を物理学的に解釈し、また、物理に関わる問題に直面したときに、自分の力で解決する方法を見いだす能力と態度を身に付ける。そのために、原理や法則を単に暗記するのではなく、それらを理解させることを目的とし、法則の導出の過程を自ら探求し考える。

また、物理現象を理解するにあたり、授業を聞くだけでなく、自らの考えを自分の言葉で表現する機会を大切にし、科学的な思考力を言語表現力とともに高める。

2. 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	1 熱	比熱・熱容量・熱量保存の法則について理解する。 熱力学第一法則について理解する。 熱機関の熱効率について理解する。
		2 熱の移動と保存 熱と仕事 熱効率と不可逆変化	
	5	2 波	波とは何か理解し周期や振動数について学ぶ。 縦波と横波について理解する。 重ね合わせの原理について学び、定常波について理解する。 音波の性質について理解し、弦と気柱の振動について学ぶ。
		1 波を表す	
		2 波の重ね合わせ 3 音の性質 4 弦の固有振動 5 気柱の固有振動	
6	さまざまな力と そのはたらき	さまざまな運動とはたらく力 圧力、水圧、浮力を理解する。	
		1学期中間試験	
	1	1 平面内の運動	1 平面内の運動 平面内の運動における相対速度について理解

		<p>2 放物運動</p> <p>2 剛体のつり合い</p> <p>3 運動量</p> <p>1 剛体と力のモーメント</p> <p>1 力積と運動量</p> <p>2 運動量の保存</p> <p>3 反発係数</p> <p>1 学期期末試験</p>	<p>する。</p> <p>水平方向、斜めに投射された物体の運動について学ぶ。</p> <p>空気の抵抗がある場合の落下運動について理解する。終端速度</p> <p>モーメントについて理解し、剛体における力のつり合いについて理解する。</p> <p>運動量と力積の関係、運動量保存の法則について学ぶ。</p> <p>反発係数の式を理解し、運動量保存の法則の式と連立して用いる。</p>		
<p>【課題・提出物】</p> <p>・確認テストおよびALリフレクションシート ・ニューグローバル ・WINSTEP</p> <p>【第1学期の評価方法】</p> <p>定期試験 + (授業への出席、課題への取り組み, 授業に対する意欲・積極性)</p>					
	月	学習内容	学習のねらい		
2 学 期	9	4 円運動	<p>1 円運動</p> <p>2</p> <p>慣性力</p>	<p>角速度、周期、回転数について理解する。</p> <p>円運動が加速度運動であることを理解し、運動方程式を立てる。</p> <p>慣性力を理解し、遠心力についても学習する。</p>	
	10	5 単振動	<p>1 単振動</p> <p>2 様々な単振動</p> <p>3 単振動のエネルギー</p>	<p>等速円運動と単振動の関係を理解する。</p> <p>単振動を引き起こす力がどのような力か理解し、運動方程式の立式をする</p> <p>単振動の例として、ばね振り子や単振り子について学ぶ。</p> <p>単振動のエネルギーを表す式を導出する。</p>	
		11	6 万有引力	<p>1 惑星の運動</p> <p>2 万有引力</p>	<p>ケプラーの法則について学習する。</p> <p>万有引力と重力について学ぶ。</p>
			7 気体分子の運動	<p>1 気体の性質</p> <p>2 気体分子の運動と状態方程式</p>	<p>ボイルシャルルの法則、状態方程式について理解する。</p> <p>気体分子の運動と圧力の関係について理解する。</p>
	12				

		<p>3 熱力学第1法則と気体の状態変化</p> <p>4 熱力学第2法則と熱機関</p>	<p>状態方程式を用いて気体の状態量を求める事ができる。</p> <p>状態変化における熱、仕事及び内部エネルギーの関係について理解する。</p> <p>熱現象の不可逆性の観点から熱力学第2法則を学び、熱効率を求める。</p>		
2学期期末試験					
【課題・提出物】					
・確認テストおよびALリフレクションシート ・ニューグローバル ・夏期休業中課題					
【第2学期の評価方法】					
定期試験 + (授業への出席、課題への取り組み, 授業に対する意欲・積極性)					
	月	学習内容	学習のねらい		
3 学 期	12 1	1 波の伝わり方	1 波の表し方	正弦波を表す式について学ぶ。	
			2 波の伝わり方	波の干渉と回折について理解する。	
				反射の法則、屈折の法則を理解する。	
				ホイヘンスの原理を理解し、波の諸現象についての理解を深める。	
	2	2 音	1 音の性質	1 学期の内容に加えて音の干渉	1 学期の内容に加えて音の干渉
			2 音のドップラー効果	ドップラー効果の原理を理解し、説明する。	ドップラー効果の原理を理解し、説明する。
	3	3 光	1 光の伝わり方	音源、観測者が運動する場合のドップラー効果について理解する。	音源、観測者が運動する場合のドップラー効果について理解する。
			2 光の回折と干渉	光の速さ、反射、屈折、全反射、分散、偏向、散乱について学ぶ。	光の速さ、反射、屈折、全反射、分散、偏向、散乱について学ぶ。
			3 レンズと鏡	光の回折と干渉の仕組みや現象について学ぶ 干渉条件を式で表すことができる。 ヤングの干渉実験、回折格子について学ぶ。 レンズを通る光の進み方や平面鏡、球面鏡での光の反射の仕方について学ぶ	光の回折と干渉の仕組みや現象について学ぶ 干渉条件を式で表すことができる。 ヤングの干渉実験、回折格子について学ぶ。 レンズを通る光の進み方や平面鏡、球面鏡での光の反射の仕方について学ぶ
3学期期末試験					
【課題・提出物】					
・確認テストおよびALリフレクションシート ・ニューグローバル ・冬期休業中課題					
【第3学期の評価方法】					
定期試験 + 平常点 (授業への出席、課題への取り組み, 授業に対する意欲・積極性)					
【年間の学習状況の評価方法】					
定期試験 + 平常点 (授業への出席、課題への取り組み, 授業に対する意欲・積極性)					

3. 評価の観点、内容及び評価方法

	観点別評価内容	評価方法
知識・技能	物理量や物理の現象について理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	定期試験 演習プリント
思考・判断・表現	様々な物理現象について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。	グループワークにおける活動 定期試験
主体的に学習に取り組む態度	学習活動に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	学習活動における態度、振り返りシート

4. 学習サポート

<p>1. 日常生活の中で起こる様々な自然現象に興味をもち、その法則性について考える態度を身につけよう。</p> <p>2. 物理法則の導出過程を大切に、論理的な思考力を高めよう。</p> <p>3. クループ活動・討論をしながら、学び合い・教え合う姿勢を身につけよう。</p> <p>4. 繰り返し演習に取り組み、徹底して基礎を定着させよう。</p> <p><定期試験に向けて></p> <p>1. 演習プリントで基礎の確認。(教科書、授業プリントの見直しや解き直し)</p> <p>2. ニューグローバルを2～3周して、理解を深めましょう。</p> <p><模試に向けて></p> <p>1. ニューグローバルでしっかり復習。</p> <p>2. 過去問題で実践演習。テスト形式で行い、自己採点・解き直し。</p>

科 目	単位数	対象学年	対象クラス
化学	5	2	理系クラス

教科書名 化学基礎 academia(実教出版) 化学 academia (実教出版)

副教材名 インプレス化学基礎ノート (浜島書店) インプレス化学ノート(浜島書店)
サイエンスビュー 化学総合資料 (実教出版)

1 科目目標

物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成する。

(1) 日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。

(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

(3) 物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

2 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	<化学基礎> 第3章 物質の変化 2節 酸と塩基 2 水素イオン濃度と pH 3 中和反応と塩 4 中和滴定	<ul style="list-style-type: none"> ・電離式、水のイオン積を用い、水素イオン濃度を求める力を育成する。 ・水素イオン濃度から pH を求める力を育成する。 ・酸、塩基を反応させ、水と塩ができる様子を反応式で示せるようにする(中和反応)。 ・生成した塩の分類を学習する。 ・中和反応の関係をを用い、酸、塩基のモル濃度と体積を求める力を育成する。 ・中和滴定(中和反応の実験)で使用する器具や操作について学習する。 ・滴定曲線(実験から得られるグラフ)の種類について学習する。
	5	3節 酸化還元反応 1 酸化と還元 2 酸化剤と還元剤 1学期中間試験	<ul style="list-style-type: none"> ・酸素、水素、電子の授受から物質を分類する。 ・酸化数の定義を理解する。 ・酸化剤、還元剤の定義を理解する。 ・代表的な酸化剤、還元剤の反応式の書き方を学習する。

<p>6</p> <p>3 酸化還元反応の起こりやすさ</p> <p>4 身のまわりの酸化還元反応 (電池のしくみ)</p> <p>< 化学 > 第1章 物質の状態と平衡 1節 状態変化 1 物質の構造と沸点・融点 (物質の三態) 2 状態間の平衡</p> <p>2節 固体の構造 1 結晶の構造 A 結晶の種類 7 B 単位格子 C 金属結晶(の構造) D イオン結晶(の構造)</p> <p>2 アモルファス 1 学期期末試験</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・酸化還元反応式の書き方を学習する。 ・酸化剤と還元剤の量的関係について学習する。 ・金属のイオン化傾向, 水との反応, 酸との反応について学習する。 ・様々な反応の様子を, 電子を用いた式で示せるようにする。 ・電池の原理について学習する。 ・ボルタ電池, ダニエル電池について, 正極, 負極の決定, 各極で起こる反応, 起電力を学習する。 <ul style="list-style-type: none"> ・物質の三態には, 温度と分子間力が関係していることを理解する。 ・状態変化に伴うエネルギーの計算を学習する。 ・圧力の単位や気液平衡, 蒸気圧と蒸気圧曲線について学習する。 <ul style="list-style-type: none"> ・イオン, 分子, 共有, 金属結晶の構造, 性質について学習する。 ・金属結晶の単位格子の配位数, 充填率, 原子半径, 含有原子数について学習する。 ・イオン結晶の単位格子の配位数, 原子半径, 含有原子数, 密度を求める力を育成する。 ・非晶質について学習する。
<p>【課題・提出物】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業中に配布する演習プリント ・ 各範囲でのインプレス化学基礎・化学の課題提出 		
<p>【1学期の評価方法】</p> <p>① 定期試験の成績 (80%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 知識・理解の確認とともに、実験について問う記述式問題も出題する。 <p>② 学習態度等の平常点 (20%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業時の学習過程で観点別評価内容の3項目について評価する。 ・ 課題の提出状況・小テストの成績を総合して評価する。 		

	月	学習内容	学習のねらい
2 学 期	9	2節 気体の性質 1 ボイル・シャルルの法則 2 気体の状態方程式 4節 溶液 1 溶解 2 溶解度 3 希薄溶液の性質	<ul style="list-style-type: none"> ・ボイルの法則を学習する。 ・シャルルの法則，絶対零度，絶対温度について学習する。 ・ボイル，シャルルの法則を学習する。 ・気体の状態方程式を用い，様々な値を求める力を育成する。 ・混合気体の全圧，分圧を求める力を育成する。 ・理想気体と実在気体の違いを理解する。 ・溶解のしくみと極性の関係について学習する。 ・溶解度と飽和溶液，溶解度曲線，再結晶について学習する。 ・質量パーセント濃度，モル濃度，質量モル濃度の定義を理解し，それぞれの値を理解できるようにする。 ・ヘンリーの法則について学習する。 ・沸点上昇と凝固点降下について学習する。 ・沸点上昇度と凝固点降下度を求める力を育成する。 ・過冷却がどのような現象なのか理解し，冷却曲線から読み取れる情報を整理する。 ・浸透圧について学習する。
	10	4 コロイド溶液の性質 2学期中間試験	<ul style="list-style-type: none"> ・コロイド粒子とコロイド溶液の性質（チンダル現象，ブラウン運動，透析，電気泳動）について学習する。 ・疎水コロイドと凝析，親水コロイドと塩析，保護コロイドについて学習する。
		第2章 物質の変化と平衡 1節 化学反応と熱・光エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・エンタルピー変化および書き方について学習する。 ・様々な反応熱(燃焼熱，生成熱，溶解熱，中和熱，状態変化によって生じる熱，結合エネルギーなど)の定義を理解する。
	11	1 エネルギーの変換と保存 2 化学反応と熱エネルギー 3 ヘスの法則 4 化学反応と光エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘスの法則の定義を理解する。 ・ヘスの法則を用いて直接測定しにくい反応熱について学習する。 ・光が関わる化学変化について理解する。

	12	2章 電池と電気分解 1節 電池 2節 電気分解	<ul style="list-style-type: none"> 電流を流した際、陽極と陰極でどのような反応が起こっているのか、電子を用いた式で示す力を育成する。 電気分解の量的関係により物質量や析出する物質などを計算する力を身に付ける。
		2学期期末試験 第3編 化学反応の速さと平衡 1章 化学反応の速さ 1節 反応の速さ 2節 反応速度を変える条件 3節 反応のしくみ	<ul style="list-style-type: none"> 反応によって速さが異なることを理解し、反応速度の表し方を学習する。 反応速度に濃度、触媒、物質の表面積が関係していることを学習する。 反応が起こるためには、分子が活性化状態で衝突しなければならないことを理解する。
【課題・提出物】			
<ul style="list-style-type: none"> 授業中に配布する演習プリント 各範囲でのインプレス化学基礎・化学の課題提出 			
【1学期の評価方法】			
③ 定期試験の成績（80%）			
<ul style="list-style-type: none"> 知識・理解の確認とともに、実験について問う記述式問題も出題する。 			
④ 学習態度等の平常点（20%）			
<ul style="list-style-type: none"> 授業時の学習過程で観点別評価内容の3項目について評価する。 課題の提出状況・小テストの成績を総合して評価する。 			
	月	学習内容	学習のねらい
3 学 期	1	2章4節 化学平衡 1. 可逆反応と化学平衡	<ul style="list-style-type: none"> 反応には、正反応と逆反応、可逆反応と不可逆反応があることを学習する。 化学平衡とはどのような状態か理解する。 化学平衡(質量作用)の法則と平衡定数、固体が関係する反応の平衡定数を求める力を育成する。 圧平衡定数と濃度平衡定数の関係性について学習する。
		2. 平衡移動	<ul style="list-style-type: none"> 平衡移動とルシャトリエの原理について学習する。 濃度変化、圧力変化、温度変化、触媒を加えたとき、反応に関与しない物質を加えたときの平衡の移動方

2	3. 平衡移動と化学工業 4. 電解質水溶液の平衡 5. 緩衝液と pH	向が言える力を育成する。 ・ハーバーボッシュ法を例にとり、化学工業と化学平衡の関係性について学習する。 ・電離平衡と電離定数, 酸の電離定数, 塩基の電離定数, 電離度と電離定数を求める力を育成する。 ・水の電離平衡を理解し, pH の値を求める力を育成する。 ・塩の加水分解と水溶液の性質, 酢酸ナトリウムの加水分解, 塩化アンモニウムの加水分解を学習する。 ・緩衝作用とは何か理解する。 ・緩衝液と pH の関係を学習する。 ・難溶性塩の溶解と溶解度積, 溶解平衡と沈殿生成, 共通イオン効果, 溶解平衡と金属イオンの分離を学習する。
3	学年末試験	
【課題・提出物】		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 冬季休業中の課題 ・ 授業中に配布する演習プリント ・ 各範囲でのインプレス化学基礎ノート・化学ノートの提出 		
【1学期の評価方法】		
⑤ 定期試験の成績 (80%) ・ 知識・理解の確認とともに、実験について問う記述式問題も出題する。 ⑥ 学習態度等の平常点 (20%) ・ 授業時の学習過程で観点別評価内容の3項目について評価する。 課題の提出状況・小テストの成績を総合して評価する。		
【年間の学習状況の評価方法】		
・ 各学期の成績と平常点を総合して評価する。		

3 観点別評価内容および評価方法

知識・技能	観点別評価内容	評価方法
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 物質とその変化について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。 ・ 物質とその変化に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探求する基礎を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業時の様子 ・ 定期試験 ・ 小テスト
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 物質とその変化の中に問題を見出し、研究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業ノート ・ 演習プリント ・ 定期試験

<p>主体的に学習に取り組む態度</p>	<p>・日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化について関心を持ち，意欲的にそれらを探究しようとするとともに，科学的な見方や考え方を身につけている。</p>	<p>・授業時の様子 ・授業ノート ・演習プリント ・実験レポート</p>
----------------------	--	---

4 学習サポート（事前・事後学習等について）

- ・ 随時、学習相談を実施するので、つまづいている箇所があれば早めに質問してほしいです。対面に加えてロイロノートを利用した学習相談も受け付けます。
- ・ ロイロノートを利用した資料の配信・課題の提出・小テストなどを行い、学習内容の定着をしましょう。

科目	単位数	対象学年	対象クラス
生物	5	2 学年	I コース理系

教科書名 生物 (数研出版)

副教材名 スクエア最新図説生物 (第一学習社) セミナー生物 (第一学習社)

1. 科目目標

1. 「生物」の面白さを知る

「生物」という科目では、生命現象のしくみや生命同士のつながり、生命の歴史について学ぶ。これらは、生命のひとつである「自分自身」を知ること・理解することである。生命の面白さを実感する。

2. 学力をつける

日本大学基礎学力到達度テスト、大学入学共通テスト、私立大学一般試験に対応できる学力を構築する。

3. 客観的な視点を育む

「生物」の学びを通して、「自分自身」や「自分自身をとりまく世界」を客観的に理解する視点を育む。

2 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期		生物	
		第1編 生命現象と物質	
		第1章 生物の進化	
	4	1. 生命の起源と生物の進化	生命の起源は、無機物から有機物が生じ、有機物の集まりから「細胞」が生じたと考えられていることを理解し、生物が代謝を通じて地球の環境を変化させてきたこと、地球の環境の影響を受けて生物が進化してきたことを理解する。
		2. 遺伝子の変化と多様性	
	5	3. 遺伝子の組み合わせの変化	
		4. 進化のしくみ	
		1 学期中間試験	生物の形質の変化は、遺伝子の変化によって生じることを学び、減数分裂の染色体の乗換えによって遺伝子の組換えが起こることを理解する。
		5. 生物の系統と進化	遺伝的浮動と自然選択によって遺伝子頻度が変化し、進化が生じることを学ぶ。
		6. 人類の系統と進化	
	第2編 生命現象と物質		
	第2章 細胞と分子		
6	1. 生体物質と細胞	細胞を構成する代表的な物質とその特徴について理解し、生命活動を担うタンパク質の構造について学ぶ。また酵素の基本的な性質と、酵素がはたらく反応条件について理解する。	
	2. タンパク質の構造と性質		
	3. 化学反応にかかわるタンパク質		
	4. 膜輸送や情報伝達に関わるタンパク質		
	1 学期期末試験		

<p>【課題・提出物】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中に配布する演習プリント ・セミナー生物（定期試験範囲、月別範囲） ・問題集用ノートの点検
<p>【第1学期の評価方法】</p> <p>① 定期試験の成績（80%） ② 学習態度等の平常点（20%）</p>

月	学習内容	学習のねらい
2 学 期	夏休みの課題・成果テスト	
9	第3章 代謝 1. 代謝とエネルギー 2. 呼吸と発酵 3. 光合成 2学期中間試験	<p>生体内で起こる化学反応の一部は酸化還元反応であり、反応に際して大きなエネルギーの出入りを伴うことを理解する。</p> <p>呼吸では、有機物が酸化されるのに伴う一連の酸化還元反応によってエネルギーが取り出され、ATPが合成されることを理解し、光合成では光エネルギーを用いてATPと電子の運搬体が合成され、これらを用いて二酸化炭素が還元されて有機物が生じることを理解する。</p>
10	第3編 遺伝情報の発現と発生 第4章 遺伝情報の発現と発生 1. DNAの構造と複製 2. 遺伝情報の発現 3. 遺伝子の発現調節	<p>DNAの構造・複製・タンパク質合成について、その詳細なしくみを理解する。また、遺伝子の発現調節の概要とバイオテクノロジーについて学習し、その原理と有用性を学ぶ。遺伝子の発現が、環境の変化などに応じて変化することも加えて理解する。</p>
11	4. 発生と遺伝子発現 5. 遺伝子を扱う技術 2学期期末試験	<p>発生の過程では、遺伝子の発現調節によって細胞が分化するしくみ理解し、遺伝子を扱う様々な技術について理解する。</p>
<p>【課題・提出物】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中に配布する演習プリント ・セミナー生物（定期試験範囲、月別範囲） ・問題集用ノートの点検 		
<p>【第2学期の評価方法】</p> <p>① 定期試験の成績（80%） ② 学習態度等の平常点（20%）</p>		

月	学習内容	学習のねらい
3 学 期	冬休みの課題・成果テスト 第4編 生物の環境応答 第5章 動物の反応と行動	

1	1. 刺激の受容 2. ニューロンとその興奮	視覚は、眼の網膜で受容された光刺激の情報が、神経によって脳に伝えられて生じることを理解する。ニューロンの興奮は細胞膜で生じる電気的な変化であり、イオンチャネルやポンプのはたらきで生じることを理解する。効果器である筋肉の構造を理解する。
2	3. 情報の統合 4. 刺激への反応 5. 動物の行動	
3 学期期末試験		
【課題・提出物】		
・授業中に配布する演習プリント ・セミナー生物（定期試験範囲、月別範囲） ・問題集用ノートの点検		
【第3学期の評価方法】		
① 定期試験の成績（80%） ② 学習態度等の平常点（20%）		
【年間の学習状況の評価方法】		
①定期試験の成績 [80%]		
②平常点 [20%] → 課題・提出物、小テスト、出席状況など		

3 評価の観点、内容及び評価方法

	観点別評価内容	評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 科学的に探究する方法を身につけ、それらの過程や結果を導き出すことができる。 生命現象について、それらの基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な自然観を身につけている。 自然界の様々な事象を科学的に考察する能力と、豊かな科学的素養が身につけられている。 	・定期テスト
思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> 生物学的な方法で生物や生物現象に関する問題を取り扱い、自然を化学的にとらえられる。 科学的に探究する方法を身につけ、それらの過程や結果を導き出し、それを表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業時の様子 定期テスト
主体的に学習に取り組む態度	生物や生物現象を通して自然に対する関心や探究心をもち、基本的な概念や原理・法則を理解する意欲とともに、科学的な自然観や生物学的に探究する能力と態度を身につけようとする。	<ul style="list-style-type: none"> 授業時の様子 提出物

4 学習サポート（事前・事後学習等について）

<ul style="list-style-type: none"> ・随時、学習相談を実施していますので、理解の難しい所、つまづいている箇所があれば、早めに解決しましょう。 ・受験に向けて、2年生のうちに基本的な内容を理解しましょう。また、時間のあるときに1年生のときの生物基礎の復習も行っていきましょう。
--

科 目	単位数	対象学年	対象クラス
体育	2	2	I・IIコース共通

教科書名 現代高等保健体育（大修館書店）

副教材名 現代高等保健体育ノート（大修館書店）

1 教科目標

- | |
|--|
| <p>(1) 運動の多様性や体力の必要性を理解し、それらの知識・技能を身につける。</p> <p>(2) 自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) 健康・安全を確保し、運動に親しむ態度を養う。</p> |
|--|

2 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	<p>集団行動</p> <p>① 集合・隊形</p> <p>② 方向変換・列の増減</p> <p>体づくり運動・体育理論（通年で行う）</p> <p>(1) 体づくり運動</p> <p>①体ほぐしの運動</p> <p>②実生活に生かす運動の計画</p> <p>(2) 体育理論</p> <p>スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展（1年次）</p> <p>運動やスポーツの効果的な学習の仕方（2年次）</p> <p>豊かなスポーツライフの設計の仕方（3年次）</p> <p>陸上競技</p> <p>①短距離走</p> <p>②持久走</p>	<p>集団の一員として迅速に、かつ安全に行動する力を身に付ける。</p> <p>①のびのびとした動作で用具などを用いた運動を行うことを通して、気付きや関わり合うことを身に付ける。</p> <p>②健康に生活をするための体力の向上，運動を行うための体力の向上を図る運動の計画と実践に取り組む姿勢を養う。</p> <p>・以下4項目に関し，体育実技の実施と関連させながら学習する。</p> <p>①スポーツの歴史的発展と多様な文化</p> <p>②現代スポーツの意義や価値</p> <p>③スポーツの経済的效果と高潔さ</p> <p>④スポーツが環境や社会にもたらす影響</p> <p>・1年次までの学習を踏まえて，記録の向上や競争の楽しさを味わう。</p> <p>・ルールマナーを大切にし，役割を積極的に引き受け，自己の責任を果たすことに意欲を持って取り組む。</p>
	5	<p>スポーツテスト（新体力テスト）</p> <p>種目：握力・上体起こし・長座体前屈・反復横とび・持久走・50m走・立 ち幅跳び・ハンドボール投げ</p>	<p>・毎年継続して記録する，スポーツテスト種目の自己目標達成及び記録向上を目指す。</p>

6	<p>ハンドボール</p> <p>①オリエンテーション ルールや用具設備の説明</p> <p>②ボール慣れ パス回し シュート 簡易ゲーム</p>	<p>・自分の今持っている体力を知り日常の運動の習慣を身につけ、生涯スポーツに繋がる土台を養う。</p> <p>・動画を視聴しながら歴史やルール・用具設備について理解する。</p>
7	<p>③役割や戦術をふまえたゲーム それぞれのポジションの役割 ディフェンスの仕方</p> <p>④スキルテスト</p> <p>⑤知識理解を確認するテスト</p>	<p>・ボールの大きさに慣れスムーズなパスキャッチ・パス回しができるようにする。</p> <p>・ランニングシュート・ステップシュート・ジャンプシュートなどさまざまなシュートが打てるようになる。</p> <p>・ゴールキーパーやコートプレイヤーの役割を理解する。</p> <p>・ゾーンディフェンスにおける攻防の仕方を理解する。</p> <p>・実態に応じたスキルテストを行う。</p> <p>・ルールや用具・施設設備に関するペーパーテストを行う。</p>
【課題・提出物】なし		
<p>【第1学期の評価方法】</p> <p>①実技試験（60%）</p> <p>ハンドボール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スキルテストによる評価 ・ペーパーテストによる評価 <p>スポーツテスト</p> <p>②授業態度・意欲・服装・出席状況・ルール小テストなど学習態度等の平常点(40%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に授業へ参加し、準備や片付けも協力してできる ・正しい服装で授業へ参加できている ・ルール等の確認テスト 		

	月	学習内容	学習のねらい
2 学 期	9	スポーツテスト(新体力テスト) 種目：握力・上体起こし・長座体前屈・反復横とび・持久走・50m走・立ち幅跳び・ハンドボール投げ 陸上競技(長距離走) ①ジョギング ②持久走	・自分の今持っている体力を知り日常の運動の習慣を身につけ、生涯スポーツに繋がる土台を養う。 ・自分の持っている体力を知り日常の運動習慣を向上させる。 ・体づくり運動と共に心肺機能向上を目的とする。
	10	バスケットボール ① 状況に応じたボール操作 シュート パス ドリブル	・防御をかわして相手陣地やゴール付近にボールを運ぶことができる。 ・味方が作り出した空間にパスを送ることができる。 ・空いた空間に向かってボールをコントロールして運ぶことができる。
	11	② 戦術	・仲間と連携して相手ゴール近くへ侵入する攻撃方法と、その動きに対応して空間を埋めるなどの防御の動きで攻防を展開することができる。
	12	③ ゲーム 試合方法やルールを工夫し、試合を行う。	・ゲームを通して仲間と協力し合う楽しさや喜びを味わうことができる。 ・審判や運営に積極的にかかわり、仲間と協力してゲームを進めることができる。
		バドミントン ① グリップ・リストスタンド 用具の扱い方 ② ストローク	・グリップの握り方や、手首の使い方について理解する。 ・フォアハンド・バックハンドの正しいフォームを習得し、ラケットの中央でシャトルを捉える。
【課題・提出物】なし			
【第2学期の評価方法】			
① 実技試験(60%) ・バスケットボール シュート、パス、ドリブル等のスキルテストによる評価。 ・仲間と協力し公正なゲームができる。			
② 授業態度・意欲・服装・出席状況・ルール小テストなど学習態度等の平常点(40%) ・積極的に授業へ参加し、準備や片付けも協力してできる。 ・正しい服装で授業へ参加できている。 ・ルール等の確認テスト。			

	月	学習内容	学習のねらい
3 学 期	1	バドミントン	サービス時のルールを理解させロング、ショート
	2	③ サービス ④ ルールの理解 ⑤ ラリーの組み立て方	サービスを使い分けるようにする。 基本的なルールを理解する。 ハイクリアー、ドロップなどの球種を理解しゲームのなかの攻防に組み入れることができるようにする。
	【課題・提出物】なし		
【第3学期の評価方法】			
①実技試験（60%）			
バドミントン			
<ul style="list-style-type: none"> ・サーブ、スマッシュ等の試験による評価。 ・ルールを理解し、試合を進めることができる。 			
②授業態度・意欲・服装・出席状況・ルール小テストなど学習態度等の平常点(40%)			
<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に授業へ参加し、準備や片付けも協力してできる。 ・正しい服装で授業へ参加できている。 ・ルール等の確認テスト。 			
【年間の学習状況の評価方法】 学年末の評定（評価）は1学期・2学期・3学期の実技の平均（60%） 年間の授業態度・意欲・服装・出席状況（40%） 知識・技能，思考・判断・表現，主体的に学習に取り組む態度等の観点を含め総合的に評価する。			

3 観点別評価内容および評価方法

	評価の観点及び内容	評価方法
知識・技能	<p>運動の合理的，計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに，目的に応じた技能を身に付けている。</p> <p>1. 運動技術（技）の名称や試合を進めるためのルールを学ぶ姿勢がある。</p> <p>2. 各運動の特性に応じて段階的な技能を身につけており，ゲームに生かすことができる。</p> <p>3. 各運動の特性に応じて勝敗を競い，攻防を展開できる技能を有する。</p> <p>4. ミニゲームの審判を務めることができる。</p>	<p>実技テスト</p> <p>確認テスト</p> <p>記録</p> <p>観察</p>

<p>思考・判断・表現</p>	<p>自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それを他者に伝えている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自己や仲間の状況に応じて体力を高める運動を継続するための取り組みを工夫し、伝えようとしている。 2. 課題解決のために身に着けた技能を生かすことができる。 	<p>記録 観察</p>
<p>主体的に学習に取り組む態度</p>	<p>運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 欠席が少なく、授業への参加態度が良好である。 2. 健康・安全に配慮した服装で参加をし、学習に主体的に取り組もうとする態度で臨んでいる。 3. 多様性を理解し仲間と協力することができる。 	<p>記録 観察</p>

4 学習サポート（事前・事後学習等について）

実技科目の特性上、基本は授業内で実施をするが、必要性や状況に応じて対応する。

教科・科目	単位数	対象学年	対象クラス
保健	1	2	I・IIコース共通

教科書名 現代高等保健体育（大修館書店）

副教材名 現代高等保健体育ノート（大修館書店）

1 教科目標

健康・安全について理解を深めるようにし、自らの健康に興味を持ち、適切に管理していく能力を育てる。

2 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	3単元 生涯を通じる健康 1.ライフステージと健康	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージと健康の関連について理解する。 ・各ライフステージで活用できる社会からの支援について理解する。
	5	2.思春期と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・思春期における体の変化を、女性と男性に分けて理解する。 ・思春期の心の発達にかかわって起こる問題について理解する。
		3.性意識と性行動の選択	<ul style="list-style-type: none"> ・性意識の男女差について理解する。 ・性情報が性行動の選択に影響を及ぼすことを、理解する。
	6	4.妊娠・出産と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠・出産の過程における健康課題について理解する。 ・妊娠・出産期に活用できる母子保健サービスについて理解する。
		5.避妊法と人工妊娠中絶	<ul style="list-style-type: none"> ・家族計画の意義と適切な避妊法について理解する。 ・人工妊娠中絶が心身に及ぼす影響について理解する。
		6.結婚生活と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・心身の発達と結婚生活の関係について理解する。 ・結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動を理解する。
	7	7.中高年期と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・加齢にともなう心身の変化について理解する。 ・高齢社会に必要な社会的な取り組みについて理解する。
【課題・提出物】 <input type="checkbox"/> 保健ノート <input type="checkbox"/> 授業プリント <input type="checkbox"/> 課題レポート			

	【1 学期の評価方法】 ○定期試験 ○平常点（保健ノート，プリント，レポートなどの提出状況）
--	--

	月	学習内容	学習のねらい
2 学 期	9	8.働くことと健康	<ul style="list-style-type: none"> ・働くことの意義と健康とのかかわりについて理解する。 ・働き方や働く人の健康問題の変化について理解する。
		9.労働災害と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・労働災害の種類とその原因について理解する。 ・労働災害を防止するために必要なことを理解する。
	10	10.健康的な職業生活	<ul style="list-style-type: none"> ・職場がおこなう健康に関する取り組みについて理解する。 ・余暇を積極的にとることの意義について理解する。
		4 単元 健康を支える環境づくり	
		1.大気汚染と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・大気汚染の原因と健康への影響について理解する。 ・大気にかかわる地球規模の健康問題について理解する。
		2.水質汚濁， 土壌汚染と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・水質汚濁， 土壌汚染の原因とその健康影響を理解する。 ・大気， 水， 土壌にまたがる複合的な環境汚染の発生のしくみについて理解する。
	11	3.環境と健康にかかわる対策	<ul style="list-style-type: none"> ・環境汚染による健康被害を防ぐ方法について理解する。 ・産業廃棄物の処理について理解する。
		4.ごみの処理と上下水道の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの処理の現状やその課題について理解する。 ・上下水道のしくみと健康にかかわる課題を理解する。
		5.食品の安全性	<ul style="list-style-type: none"> ・食品の安全性と健康とのかかわりについて理解する。 ・食品の安全性に関する今日的課題について理解する。
	12	6.食品衛生にかかわる活動	<ul style="list-style-type: none"> ・食品の安全性を確保するための行政や製造者の役割について理解する。 ・食品の安全性を確保するための個人の役割について理解する。

	【課題・提出物】○保健ノート ○授業プリント ○課題レポート	
	【2学期の評価方法】○定期試験 ○平常点（保健ノート，プリント，レポートなどの提出状況）	
	月	学習内容
3 学 期	1	7.保健サービスとその活用
	2	8.医療サービスとその活用
		9.医療品の制度とその活用
3	10.さまざまな保健活動や社会的対策	
	11.健康に関する環境づくりと社会参加	
		学習のねらい
		<ul style="list-style-type: none"> ・保健行政の役割について理解する。 ・保健サービスの活用について理解する。 ・わが国における医療保険のしくみについて理解する。 ・さまざまな医療機関の役割について理解する。 ・医薬品の正しい使用法について理解する。 ・医薬品の安全性を守る取り組みについて理解する。 ・国際機関・民間機関などの保健活動について理解する。 ・行政機関による社会的対策について理解する。 ・健康の保持増進のための環境づくりについて理解する。 ・環境づくりへの主体的な参加が自他の健康づくりにつながることを理解する。
	【課題・提出物】○保健ノート ○授業プリント ○課題レポート	
	【3学期の評価方法】○定期試験 ○平常点（保健ノート，プリント，レポートなどの提出状況）	

【年間の学習状況の評価方法】

100点法にて評価（試験・平常点で総合評価する）

- (1) 各学期評価【試験における素点の80%＋平常点20%にて評価】
- (2) 年度末評価【（1学期素点＋2学期素点＋3学期素点）÷3＋年間平常点にて評価】
- (3) 平常点の算出

授業に対する取り組み，小テスト，動画視聴，まとめレポート等で算出。

知識・技能，思考・判断・表現，主体的に学習に取り組む態度等の観点を含め総合的に評価する。

3 観点別評価内容および評価方法

	観点別評価内容	評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験において，事実的な知識の習得を問う問題と，知識の概念的な理解を問う問題をバランスよく出題する ・授業中に知識や技能を用いる場面を設定する。実習や体験を行う 	定期試験 小テスト 観察
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・論述やレポートの作成，発表。グループでの話し 	レポート

	合いなどを行う	観察
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ノートやレポートによる記述 ・授業中の発言 ・自己評価 	観察

4 学習サポート（事前・事後学習等について）

質問に関しては、随時教科担当者が対応する。

科目	単位数	対象学年	対象クラス
英語コミュニケーションⅡ	5	2	Iコース

教科書名	BIG DIPPER English Communication II	(数研出版)
副教材名	BIG DIPPER English Communication II ベーシックノート	(数研出版)
	英単語ターゲット R 英単語ターゲット 1200 レベル	(旺文社)
	Listening Scope Basic	(いいずな書店)
	大学入試 4 技能試験対応 コア表現トレーニング 上級編	(旺文社)
	Pair & Share 2	(いいずな書店)

1. 科目目標

学習のねらい

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。

2. 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	Lesson 1 Why Don't You Come to School in Pajamas? 海外のユニークな学校行事	<ul style="list-style-type: none"> 各 Part の本文の内容を読み、概要や要点を学習する。 本文の内容について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話す／書く能力を身に付ける。 受動態、不定詞、助動詞＋受動態を理解する。
	5	Lesson 2 Is Seeing Believing? 楽しい「だまし絵アート」	
	《1 学期中間試験》		
	6	Lesson 3 Do You Get Enough Sleep? 良い睡眠をとるには	<ul style="list-style-type: none"> 仮定法過去、関係代名詞 what, 関係副詞 when, where を理解する。
	7	Lesson 4 Do You Want to Speak English like a Native Speaker? 英語の多様性について	<ul style="list-style-type: none"> 関係代名詞の継続用法 which, 関係副詞 why を理解する。 SVO₁O₂ (O₂=that 節) を理解する。
《1 学期期末試験》			

	【課題・提出物】 ・ベーシックノート ・単語テスト	【1学期の評価方法】 定期試験素点：80%（中間試験及び期末試験） 平常点：20%（課題提出，単語テスト，授業態度）	
	月	学習内容	学習のねらい
2 学 期	9	Lesson 5 Universal Design: Convenient for All ユニバーサルデザインの役割と課題	・分詞構文，進行形＋受動態を理解する。 ・関係副詞 where の継続用法を理解する。
	10	Lesson 6 Wakamiya Masako: The World's Oldest Game App Developer 81歳でゲームアプリをつくった若宮正 子さん	・SVC（C＝現在 / 過去分詞）を理解する。 ・受動態の分詞構文を理解する。 ・助動詞＋完了形を理解する。
	《2学期中間試験》		
	11	Lesson 7 Learning from Nature 自然界の生物をヒントにして開発され たもの Lesson 8 The Wisdom of Preserving Food 保存食の魅力と可能性	・省略表現，動名詞の意味上の主語，未来進行形， 完了形＋不定詞を理解する。 ・仮定法過去完了，仮定法の表現(as if / without) を理解する。 ・形式目的語 it の表現（to 不定詞 / that 節）を 理解する。
	12	《2学期期末試験》	
	【課題・提出物】 ・ベーシックノート ・単語テスト	【2学期の評価方法】 定期試験素点：80%（中間試験及び期末試験） 平常点：20%（課題提出，単語テスト，授業態度）	
	月	学習内容	学習のねらい
3 学 期	1	Lesson 9 The Sharing Economy: Something for Everyone? シェアリングエコノミーとは	・未来完了，無生物主語構文を理解する。 ・SVC（C＝that 節）を理解する。
	2	Lesson 10 Sand and Concrete: A Basis of Our Life 知られざる世界の砂不足について	・関係副詞 when の継続用法を理解する。 ・SVC（C＝that 節），未知語の推測を理解する。
	3	《3学期期末試験》	

【課題・提出物】 ・ベーシックノート ・単語テスト	【3学期の評価方法】 定期試験素点：80%（期末試験） 平常点：20%（課題提出，単語テスト，授業態度）
【年間の学習状況の評価方法】 定期試験素点：80%（年間5回の定期試験素点の平均点） 平常点：20%（各学期の平常点の平均点）	

3. 観点別評価内容および評価方法

項目	観点別評価内容	評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・側注/脚注の語彙や言語材料（重要文法事項）を理解している。 ・語彙の意味，言語材料の用法の理解をもとに，内容を読み取る技能を身に付けている。 ・各 Part 本文の内容について，事実や自分の考えを整理し，語彙や語句，言語材料を用いて伝えたり，相手からの質問に答えたりする技能を身に付けている。 	授業の参加態度(発表) 単語テスト 定期試験 提出物
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマについて理解を深めるために，本文の内容を読み取り，概要や要点を把握している。 ・トピックについて学習した語句や文法事項を用いて，自分の意見を話したり書いたりすることを身に付けている。 	授業の参加態度(発表) 単語テスト 定期試験 提出物
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマについて理解を深めるために，本文の内容を読み取り，概要や要点を把握しようとしている。 ・本文の内容について学習した語句や文法事項を用いて，自分の意見を話したり書いたりすることを身に付けようとしている。 	授業の参加態度(発表) 単語テスト 定期試験 提出物

4. 学習サポート（事前・事後学習等について）

英語を身につけるためには根気のいるような地道な努力が欠かせません。ターゲットや本文に出てくる単語・熟語を繰り返し学習すること，各 Part で扱われる重要構文を理解すること，授業や家庭学習で音読に取り組むことなどを継続して行えるかがカギになります。また，一度や二度では覚えることや定着させることは難しいので，定期的に何度も復習することを心がけましょう。

授業は受け身にならずに積極的に発言をして，友人と協力して答えを導き出す努力をしていくことが大切です。特に，SW の授業はネイティブの先生の授業を受けられる機会なので，疑問に思うことや伝えたいことの表現に困った時は積極的に質問してください。

皆さんの英語力向上に向けて先生たちと一緒に頑張りましょう。

科目	単位数	対象学年	対象クラス
論理・表現Ⅱ	2	2	Iコース

教科書名 Harmony English Logic and Expression II (いっいずな書店)

副教材名 Harmony English Logic and Expression II All-in-One Workbook (いっいずな書店)

Harmony English Logic and Expression II Grammar Book (いっいずな書店)

Harmony 総合英語 (いっいずな書店)

Scramble 英文法・語法 Basic (旺文社)

1. 科目目標

「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」「書くこと」を中心とした統合的な言語活動を通して、コミュニケーションを図るために必要な発信能力を育成するとともに、論理の構成や展開を考察することで、情報や考えなどを論理的に工夫しながら伝える能力を養う。

2. 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	【Harmony English Logic and Expression I】 Lesson 17 Food Waste データを比較しながら身近な社会問題について話す	・最上級の表現，比較級を使った表現について理解する。
	5	Lesson 18 Water Problem 違う人の立場に立って話す	・仮定法過去やその他の仮定表現について理解する。
	《 1 学期中間試験 》		
		【Harmony English Logic and Expression II】 Lesson 1 During Spring Vacation 最近の出来事について説明する	・現在形・過去形・未来の表現について理解し，それらを用いて正しく英文を書くことや考えを発表することを身に付ける。
	6	Lesson 2 My Favorite Star 有名人の経歴について説明する	・現在完了形 / 過去完了形について理解し，それらを用いて正しく英文を書くことや考えを発表することを身に付ける。
		Lesson 3 My Career Path できること・すべきことについて話す	・助動詞について理解し，それらを用いて正しく英文を書くことや考えを発表することを身に付ける。
《 1 学期期末試験 》			
【課題・提出物】 ・授業用ノート ・ワークブック ・小テスト			
【第 1 学期の評価方法】 定期試験素点：80%（中間試験及び期末試験） 平常点：20%（課題提出，小テスト，授業態度）			

	月	学習内容	学習のねらい	
2 学 期	9	Lesson4 Talking about Japanese Culture 日本の文化・ものについて話す	・受動態について理解し、それらを用いて正しく英文を書くことや考えを発表することを身に付ける。	
		Lesson5 Disaster Prevention 防災について考え	・不定詞の3つの用法について理解し、それらを用いて正しく英文を書くことや考えを発表することを身に付ける。	
	10	Lesson6 Town Planning 都市構造について議論する	・不定詞を使った表現について理解し、それらを用いて正しく英文を書くことや考えを発表することを身に付ける。	
	《2学期中間試験》			
		Lesson7 Foods and Culture 食について考える	・動名詞について理解し、それらを用いて正しく英文を書くことや考えを発表することを身に付ける。	
	11	Lesson8 ICT and Universal Design ICT とバリアフリー社会について考える	・分詞について理解し、それらを用いて正しく英文を書くことや考えを発表することを身に付ける。	
		Lesson9 World Peace 世界平和に貢献した人々について知る	・関係代名詞について理解し、それらを用いて正しく英文を書くことや考えを発表することを身に付ける。	
	12	Lesson10 Volunteering Abroad 世界の国々について知る	・関係副詞について理解し、それらを用いて正しく英文を書くことや考えを発表することを身に付ける。	
	《2学期期末試験》			
	【課題・提出物】・夏期休業期間中の課題 ・授業用ノート ・ワークブック ・小テスト			
【第2学期の評価方法】 定期試験素点：80%（中間試験及び期末試験） 平常点：20%（課題提出，小テスト，授業態度）				
	月	学習内容	学習のねらい	
3 学 期	1	Lesson11 Health and Lifespan 健康と生活について考える	・比較について理解し、それらを用いて正しく英文を書くことや考えを発表することを身に付ける。	
	2	Lesson12 If the World Were ... さまざまな立場に立って考える	・仮定法について理解し、それらを用いて正しく英文を書くことや考えを発表することを身に付ける。	
	3	Lesson13 Culture and Perception 文化と認知の関係について知る	・否定 / 疑問文について理解し、それらを用いて正しく英文を書くことや考えを発表することを身に付ける。	
	《3学期期末試験》			
【課題・提出物】 ・冬期休業期間中の課題 ・授業用ノート ・ワークブック ・小テスト				
【第3学期の評価方法】 定期試験素点：80%（期末試験） 平常点：20%（課題提出，小テスト，授業態度）				
【年間の学習状況の評価方法】 定期試験素点：80%（5回実施される定期試験素点の平均点） 平常点：20%（各学期の平常点の平均点）				

3 観点別評価内容および評価方法

	観点別評価内容	評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・習得すべき知識や重要な概念を理解している。 ・習得すべき知識や重要な概念を既存の知識及び技能と関連付けて活用したりする中で、概念として理解したり、技能を身に付けている。 	(a) 授業中の活動への取り組み状況・参加姿勢 (b) ノート・ワーク等の提出物 (c) 小テスト・定期考査等のペーパーテスト
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身に付けている。 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みの中で、自らの学習を調整しようとしている。 	

4. 学習サポート（事前・事後学習等について）

英語の力をつけるために英文法を理解することは必要不可欠です。授業に集中して取り組み、ワークブックなどを用いて復習に力を入れましょう。また、疑問に思うことや理解できていない文法事項はそのままにしないで、必ず担当教員に質問してください。論理表現Ⅱでは1年生の時に学んだ文法の知識などを活かして発展的な内容にも取り組んでいくようになります。3年生の4月・9月の基礎学力到達度テストでも結果を残せるように頑張りましょう。

科目	単位数	対象学年	対象クラス
家庭基礎	2	2学年	I・IIコース

教科書名 気づく力 築く未来 家庭基礎 (実教出版)

副教材名 生活学 N a v i 資料+成分表 (実教出版)

気づく力 築く未来 授業ノート (実教出版)

1. 科目目標

- ・人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭、衣食住、消費や環境など、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- ・家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定、解決策を構想・実践、考察するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。

2. 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	ガイダンス・食物アレルギーについて 第1章 これからの人生について考えてみよう 1 自分の未来予想図を描こう 2 これからの人生をデザインする	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の意義や内容、持ち物、評価の方法などを理解する。食物アレルギーについて把握する。 ・ライフステージごとの特徴・課題を理解する。 ・人生設計に必要な要素を理解する。
	5	第2章 自分らしい生き方と家族 1 自立と共生 2 ライフキャリア 3 共に生きる家族 4 家族に関する法律	<ul style="list-style-type: none"> ・自立の種類と具体的な内容を把握する。 ・男女共同参画社会の実現をめざす歩みと社会的背景について理解する。 ・労働の種類と意義について多面的に検討する。 ・家族・家庭の意義や機能について理解する。 ・現在の家族の抱える課題などを理解する。 ・家族に関する法律の理念や背景、改正点について理解する。
	6	第3章 子どもとかかわる 1 子どもとは ■DVD 視聴 「生命の誕生2」 ○妊娠疑似体験 2 子どもの発達 ○育児体験 3 子どもの生活	<ul style="list-style-type: none"> ・育児を学ぶ意義、10代の健康が将来生まれてくる子どもに繋がっていることを理解する。 ・妊娠中の女性の大変さを知り、パートナーとして助け合うことの大切さに気づく。 ・子どもの心身の発達は身近な大人との関わりによって発達することを理解する。 ・新生児の抱き方、ミルクの与え方、げっぷのさせ方、オムツの取り替え方を知る。 ・子どもの食事や衣服、遊びを理解する。

	6	<p>4 子どもをはぐくむ</p> <p>5 子どものための社会福祉</p> <p>第4章 高齢者とかかわる</p> <p>1 高齢社会に生きる</p> <p>■DVD視聴 「高齢者の特徴」</p> <p>2 高齢期を知る ○高齢者疑似体験</p> <p>3 高齢期の自立を支える</p> <p>4 高齢社会を支えるしくみ</p> <p style="text-align: center;">1 学期期末試験</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもを生み、育てる意義を理解する。 ・親子関係の課題を理解し、解決策を考える。 ・子育てのための社会的支援や子どもの権利と福祉の歩みを理解する。 ・高齢者、高齢社会への理解を世界の動向からも深める。 ・心身の特徴や生活を理解し、高齢期の心身の変化による不安に気づき、改善策を考察する。 ・要介護の高齢者に必要な心がけを理解する。 ・介護保険制度について理解する。 ・介護をめぐる課題について理解する。
	7	<p>■DVD視聴</p> <p>「ホームプロジェクト」</p> <p>☆夏休み課題「ホームプロジェクト」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休み中に家庭生活の中の問題を見つけ、改善方法を考えて実施する。研究した内容をレポートにまとめる。
<p>【課題・提出物】 ・学習ノート、小テストなど</p>			
<p>【第1学期の評価方法】</p> <p>①定期試験の成績（60%）→知識・理解の確認をする。</p> <p>②学習態度等の平常点（40%）→実習課題等の提出状況（30%）、授業態度（10%）を評価する。</p>			
	月	学習内容	学習のねらい
2 学 期	9	<p>○ホームプロジェクト発表会</p> <p>第5章 社会とかかわる</p> <p>1 支え合って生きる</p> <p>2 共生社会を生きる</p> <p>第7章 衣生活をつくる</p> <p>1 人と衣服のかかわり</p> <p>2 衣服の素材の種類と特徴</p> <p>3 衣服の選択から管理まで</p> <p>■DVD視聴</p> <p>「衣服と装いの科学」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発表会を通して、実施内容を反省・評価する。また他者の発表を聞き、参考にする。 ・個人や家庭生活を支える社会保障制度や社会福祉についての重要性を理解する。 ・協働やボランティア活動に関心を持てるようする。 ・衣服の起源、機能や安全性を理解する。 ・繊維の種類と特徴、衣服素材の性能を理解する。 ・衣服の表示内容やその意味を理解し、購入から洗濯などの管理に役立てる。 ・洗剤・漂白剤・防虫剤などの種類について理解し、衣服の種類に応じた適切な選択や保管ができるようにする。
	10	<p>第6章 食生活をつくる</p> <p>1 日本の食文化の形成</p> <p>2 私たちの食生活</p> <p>○調理実習の説明・栄養価計算</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・食文化の成り立ち、和食の特徴を理解する。 ・自身の食生活の現状把握と課題を知る。 ・栄養価計算の方法を知り、実践する。

10	●第1回 調理実習、一汁二菜の献立 「魚のなべ照り焼き、すまし汁、青菜のごまあえ」	・調理を通して基礎的な技術を身に付ける。 ・切り身魚の扱い方、和風だしの取り方、青菜のゆで方を学ぶ。
11	3 栄養と食品のかかわり 4 食品の選び方と安全 5 食事の計画と調理 6 これからの食生活を考える	・栄養素の種類と働きやそれぞれの栄養素が多く含まれる食品について確認する。 ・旬の食材や表示の読み方を理解する。 ・食中毒の予防法、食品添加物を理解する。 ・年齢や性別ごとに異なる食事摂取量と、それを満たすための食品の概量を理解する。 ・日本の食料自給率の現状を知り、日本の食糧事情を解決するためにできることを考える。 ・食の安全と環境に配慮した食生活を送ることができるようになる。
12	○調理実習の説明・栄養価計算 ●第2回 調理実習、中華の献立 「回鍋肉、粟米湯、乃豆腐」	・炒め物のコツ、片栗粉でのとろみのつけ方、寒天の扱い方を理解する。
【課題・提出物】 ・学習ノート、小テスト、ホームプロジェクト、調理実習の記録など		
【第2学期の評価方法】		
①定期試験の成績（60%）→知識・理解の確認とともに、調理に関する基礎的知識も出題する。 ②学習態度等の平常点（40%）→実習課題等の提出状況（30%）、授業態度（10%）を評価する。		
月	学習内容	学習のねらい
3 学 期	1 第8章 住生活をつくる 1 人間と住まい 2 住まいの文化 3 住まいを計画する ■DVD 視聴 「見つけよう、マイルーム」	・住まいはどのような機能を持ち、人の生活がその機能とどう関わっているか理解する。 ・日本の伝統的な住居の特徴や暮らし方の工夫を見つける。 ・日本の住居の変遷、生活様式を理解する。 ・生活行為と住空間のかかわりや、住空間の違いによって住まいの居住性が異なることを理解する。平面図の基礎的知識を学び、平面図から住空間が読み取れるようになる。
	2 4 健康に配慮した快適な室内環境 5 安全な住まい 第9章 消費行動を考える 1 消費行動と意思決定 2 消費生活の現状と課題	・健康的な室内環境をつくるためのさまざまな要素を理解する。 ・安全で長く住み続けるために必要な住居の管理の方法、防災対策について理解する。 ・家庭内事故や災害について学習し、安全な住まい環境について理解する。 ・消費行動において、意思決定のプロセスが重要であることを認識する。 ・契約、多様な販売方法や支払方法、問題商法

2	<p>■DVD 視聴</p> <p>「消費生活とトラブル防止」</p> <p>3 消費者の権利と責任</p> <p>4 ライフスタイルと環境</p> <p>第10章 経済的に自立する</p> <p>1 暮らしと経済</p> <p>2 将来のライフプランニング</p>	<p>について理解する。また、被害にあった場合の解決方法について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者の権利と責任について理解する。 ・資源・環境に配慮した生活スタイルについて考え、実行できる。 ・家計と国民経済、国際経済の関係性に気づく。 ・家計の構造を理解し、適切な家計管理ができるようにする。 ・金融商品を知り、生活設計とかわらせて、長期の経済設計の必要性について理解する。
3	<p>学年末試験</p>	
<p>【課題・提出物】 ・学習ノート、小テストなど</p>		
<p>【第3学期の評価方法】</p> <p>①定期試験の成績（60%）→知識・理解の確認をする。</p> <p>②学習態度等の平常点（40%）→実習課題等の提出状況（30%）、授業態度（10%）を評価する。</p>		
<p>【年間の学習状況の評価方法】 ・学年末の成績は、各学期の総合成績を総合して評価する。</p>		

3. 観点別評価内容および評価方法

	観点別評価内容	評価方法
知識・技能	<p>家族・家庭の意義、また社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解し、それらにかかわる技能を身につけている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・定期試験 ・小テスト
思考・判断・表現	<p>課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームプロジェクトの発表 ・グループワークの参加
主体的に学習に取り組む態度	<p>課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・調理実習の記録や疑似体験ワークシート ・ホームプロジェクトの記録 ・学習ノート ・小テスト

4. 学習サポート（事前・事後学習について）

<ul style="list-style-type: none"> ・自分の家族や家庭生活について関心を持ち、その中にある問題点を把握し、その解決策を考える力を身につけましょう。 ・家庭科の学習を実際の生活と結びつけ、実践的・体験的な学習活動やグループ活動へ積極的に取り組みましょう。 ・衣食住に関する知識や技術を身に付け、ホームプロジェクトを充実させましょう。 <p><定期試験に向けて></p> <ol style="list-style-type: none"> 1、授業の内容をしっかりと復習する。（学習ノートやプリント等を見直すこと） 2、提出物は期限を守って提出すること。
--

科目	単位数	対象学年	対象クラス
情報 I	1	2 学年	I・IIコース

教科書名 高校情報 I JavaScript (実教出版)

副教材名 ポイント整理 情報モラル (数研出版)

1 科目目標

- ①効果的なコミュニケーションの実現，コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに，情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。
- ②様々な事象を情報とその結び付きとして捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
- ③情報と情報技術を適切に活用するとともに，情報社会に主体的に参画する態度を養う。

2 学習計画及び評価方法

月	学習内容	学習のねらい	
1 学 期	4	<ul style="list-style-type: none"> ➤ ガイダンス ● PC・教室利用について ● PCの個人設定 ● タイピング 	<ul style="list-style-type: none"> ・PCの個人設定を行い，利用環境を整える。 ・タイピングソフトの利用の仕方を確認し，タイピングに取り組む。
	5	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 情報の表現の工夫 ● 文書作成ソフトの操作方法について ● 課題の保存と提出の操作方法について 	<ul style="list-style-type: none"> ・文書作成ソフトの操作方法を学び，表現の工夫を理解する。 ・課題の取得・保存・提出をできるようにする。
	6	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 2進数と10進数・16進数 ● 2進数とは何か ● 10進数とは何か ● 16進数とは何か ➤ コンピュータの構成とインターネットの利用について ● コンピュータを構成している要素について理解する ● インターネットの利用の仕方について 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータにおける数値の取り扱いは，2進数・16進数で行われることを理解する。 ・2進数・16進数を用いた数の表現について理解する。 ・コンピュータはハードウェアとソフトウェアから構成されていることを理解する。 ・コンピュータの五つの機能について理解する。 ・インターネット利用の注意点を理解する。
		<ul style="list-style-type: none"> ➤ 情報のデジタル化① ● アナログとデジタル ● 情報量を表す単位について ● bitとは何か 	<ul style="list-style-type: none"> ・アナログとデジタルの相違を理解する。 ・コンピュータで扱うデータの最小単位の bit を理解する。
	7	1 学期期末試験	<ul style="list-style-type: none"> ・情報量の単位の変換を理解する。

<p>【課題・提出物】 授業で配布する資料プリント，授業ノート 実技演習課題</p>			
<p>【1学期の評価方法】</p> <p>① 学期末試験 50% 1学期期末試験のみ筆記試験を行う。中間試験は行わない。 知識・理解の確認とともに，タイピングの知識などを見る問題も出題する。</p> <p>② 実習課題等 30% 実習時の演習課題ならびにタイピングの能力を評価する。</p> <p>③ 平常点 20% 課題の提出状況やノートの確認を通して評価する。</p>			
月	学習内容	学習のねらい	
2 学 期	9	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 情報のデジタル化② ● 音声のデジタル化の仕組み ● 音楽 CD の記憶の仕組み ➤ 情報のデジタル化③ ● PC での画面表示と解像度 ● 光の 3 原色 ● 画像の諧調と情報量 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音声を 2 進数であらわされる数値データに変換する過程を理解する。 ・ コンピュータにおける画像の表現方法を理解する。 ・ データの様々な圧縮形式について理解する。 ・ 情報社会に関わる様々な法律の名称とその役割を学び，情報を保護する必要性や，個人が担う責任について理解する。 ・ プレゼンテーションソフトの操作方法を学ぶ。 ・ プレゼンテーションを通し，情報の発信の仕方を学ぶ。 ・ Web ページが HTML という言語によって記述されていることを学ぶ。 ・ 実際に簡単な自己紹介の Web ページを作成することによって，HTML の基本的なタグを理解する。 ・ HTML の様々なタグを学ぶ。
	10	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 情報の圧縮 ● 情報の圧縮の考え方について ● 音・画像・動画の圧縮 ➤ 個人情報と知的財産権 ● 個人情報の取り扱いについて ● 知的財産権について ● プレゼンテーションソフトを用いたグループ演習 	
	11	<ul style="list-style-type: none"> ➤ HTML 文の書き方① ● Web ページとは何か ● Web ページ作成の準備 ● 基本的なタグ 	
	12	<ul style="list-style-type: none"> ➤ HTML 文の書き方② ● 様々な HTML タグについて ● カラーコード 	
	2 学期期末試験		
<p>【課題・提出物】 授業で配布する資料プリント，授業ノート 実技演習課題</p>			
<p>【2学期の評価方法】</p> <p>① 学期末試験 50% 2学期期末試験のみ筆記試験を行う。中間試験は行わない。 知識・理解の確認とともに，タイピングの知識などを見る問題も出題する。</p> <p>② 実習課題等 30% 実習時の演習課題ならびにタイピングの能力を評価する。</p> <p>③ 平常点 20% 課題の提出状況やノートの確認を通して評価する。</p>			

	月	学習内容	学習のねらい
3 学 期	1	▶ HTML を用いたグループによる情報 発信 ● グループ演習 学年末試験	・より高度なHTMLのタグを学ぶ。 ・情報を発信することの責任について理解する。 ・他者と協力して情報発信をすることを学ぶ。
	2		
	3		
		【課題・提出物】 授業で配布する資料プリント，授業ノート 実技演習課題	
		【3学期の評価方法】 ① 学期末試験 50% 知識・理解の確認とともに，タイピングの知識などを見る問題も出題する。 ② 実習課題等 30% 実習時の演習課題ならびにタイピングの能力を評価する。 ③ 平常点 20% 課題の提出状況やノートの確認を通して評価する。	
		【年間の学習状況の評価方法】 1学期末と2学期末と3学期末の成績を統合して評価する。	

3 観点別評価内容および評価方法

	観点別評価内容	評価方法
知識・技能	情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し，技能を身に付けているとともに，情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。	・授業ノート ・実技演習課題 ・学習活動の観察
思考・判断・表現	事象を情報とその結び付きの視点から捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	・実技演習課題 ・学習活動の観察
主体的に学習に取り組む態度	情報社会との関わりについて考えながら，問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し，自ら評価し改善しようとしている。	・授業時の取り組み ・タイピングテスト ・学習活動の観察

4 学習サポート（事前・事後学習等について）

- ・コンピュータリテラシーとしてタイピング技術を身につけ，ブラインドタッチに挑戦しましょう。
- ・実技については，毎時間課題を課します。時間ごとの内容を確認するのでしっかり覚えましょう。

科目	単位数	対象学年	対象クラス
総合的な探究の時間	1	2 学年	I

1 科目目標

<p>学習指導要領における目標</p> <p>探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成する。</p> <p>(1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解する。</p> <p>(2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。</p> <p>(3) 探究に主体的・協働的に取り組み、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。</p>	<p>日本大学および 日本大学東北高等学校の教育目標</p> <p>『自主創造』</p> <p>自主的に学び、考え、広く世界的視野を持つ新しい自分、心豊かな自分を創造すること。</p> <p>※日本大学マインド</p> <p>多様な価値を受容し、自己の立場・役割を認識する力</p> <p>異文化及び異分野の多様な価値を受容し、地域社会、日本及び世界の中での自己の立ち位置や役割を認識し、説明することができる。</p> <p>社会に貢献する姿勢</p> <p>社会に貢献する姿勢をもち続けることができる。</p>
--	--

踏まえて

踏まえて

<p>本校において定める「総合的な探究の時間」の目標</p> <p>探究が自律的に行なわれるような学習環境の整備に努め、他者と協働的に取り組む中で、新たな価値を見つけ、自己の生き方や社会・職業などについて考え、発展的に自己の進路実現に向かっていくような学習展開がなされることを目標とする。</p>
--

<p>「総合的な探究の時間」において育てようとする資質や能力及び態度</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生徒自身が、これまでの学びを相互に関連付けながら課題を発見し、解決する能力 2 自律的・主体的に学習活動に取り組むことができる資質 3 他者と協働して課題に取り組む態度 4 自己の生き方や社会の諸問題について考え、発展的に自身の進路実現に向かっていく態度

相互に関連付け、学習や生活において生かし、それらが総合的にはたらくようにする。

他教科で身に付けた資質・能力

2 各学年の目標および探究するテーマ

1 年次：「自己理解とキャリア探究」 働く意義について考える。探究の基礎を学ぶ。

2 年次：「自己啓発」 自ら課題を発見・追究・表現・解決する → ロハス探究

興味・関心、身近な疑問に基づくテーマ、地域社会に関するテーマ

3 年次：「自己実現」 実体験を通じて社会に学び、社会への共生を図る。

学術的テーマまたは社会問題や企業課題に関するテーマ

3 学習計画及び評価方法

学期	回	活動内容	活動のねらい
1 学期	1	NOLTY 探究プログラム【発表】	1年次の成果を個人で発表する
	2	NOLTY 探究プログラム【発表】	1年次の成果を個人で発表する
	3	振り返り	1年次の活動を振り返り活動の成果を確認する。
	4	(ロハス)探究オリエンテーション	ロハス探究の概要を理解する。
	5	探究のテーマ提案①	取り組んでみたいテーマを考える。
	6	探究のテーマ提案②	テーマを共有する。
	7	取り組むべき探究テーマ決定	自己の取り組むテーマを決める。
2 学期	8	(ロハス)探究ガイダンス	班編成、テーマに対する問の作成
	9	ファーストコンタクトに向けた準備	ファシリテータとの顔合わせ
	10	班別の探究活動①	課題設定
	11	班別の探究活動②	情報収集
	12	班別の探究活動③	情報収集
	13	班別の探究活動④	整理分析
	14	班別の探究活動⑤	まとめ
	15	班別の探究活動⑥	表現 (プレゼン動画作成)
3 学期	16	班別の探究活動⑦	表現 (プレゼン動画作成・共有)
	17	代表班決定	プレゼン動画共有 (他班・代表班)
	18	自己の探究についての振り返り	講評をもとにした振りかえり
	19	(ロハス)探究プレゼン大会	探究成果の共有
	20	(ロハス)探究プレゼン大会振り返り	発表から得られたことの確認
	21	A 4版 1枚成果物の作成	人に伝えることを意識し探究の内容を簡潔にまとめる。
	22	探究のまとめ	全体の振り返り

3-(1) 評価の観点、内容及び評価方法

成果物の出来栄えなど、活動の結果だけを評価するのではなく、過程を評価する。

	評価の観点及び内容	評価方法
知識・技能	探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識および技能を身に付け、課題に関する概念を形成し、探究の意義や価値を理解している。	プレゼンテーションやポスター発表などの表現による評価。
思考・判断・表現	実社会や実生活と自己との関わりから問いを見出し、自ら問いを立て、情報を集め、整理分析して、まとめ・発表している。	討論や質疑の様子などの言語活動の記録による評価。
主体的に学習に取り組む態度	探究に主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとしている。	学習や活動の状況などの観察記録による評価。論文・報告書、レポート、ノート、作品などの制作

		物による評価。 評価カードや学習記録などによる生徒の自己評価や相互評価。
--	--	---

3-(2) 評価基準 (ルーブリック)

	十分満足できる(A)	概ね満足できる(B)	努力を要する(C)
知識・技能 知識・技能	必要な知識・技能を書籍や資料等から得て、既得の知識と関連付けて理解することができる。	必要な知識・技能を書籍や資料等から得て、ある程度理解することができる。	必要な知識・技能を書籍や資料等から得ることができない。得た知識・技能の理解ができない。
課題を発見する力 思考・判断	自分の興味・関心と社会問題を関連付けて、課題を発見することができる。	自分の興味・関心から、または社会問題から課題を発見することができる。	自分の興味・関心、社会について理解が浅く、課題を発見できない。
課題を解決する力 思考・判断	データや情報を適切に収集し、整理・分析をすることができる。 筋道を立て、論理的な考えを構築できる。	データや情報を適切に収集し、整理・分析をする努力ができる。 根拠や論理性に欠けた部分はあるが、自分なりの考えを提示できる。	データ・情報を適切に収集・分析することができない。 データ・情報に基づいた考えを思考することができない。
考えを他者に伝えることができる力 表現	論理的に筋道を立て、分かりやすく、工夫のある発表をすることができる。	論理的に筋道を立て、分かりやすく発表しようとする努力ができる。	発表するための準備が不十分である。
自立的・主体的に学習に取り組む力 主体的に学習に取り組む態度	課題の解決に向けて自ら粘り強く取り組むことができる。	課題の解決に向けて意欲的に継続して取り組むことができる。	活動に意欲的に取り組むことができない。
他者と協働する力 主体的に学習に取り組む態度	班員と目標を共有し、価値観や意見の異なる人の意見も尊重し協力して活動できる。	班員と協力して活動できる。	班員と協力する姿勢が見られない。